

令和5年度

武蔵村山市第二期子ども・子育て支援事業計画  
(令和2年度～令和6年度)

施策進捗状況一覧

令和6年3月末現在

# 《目次》

## 基本目標 1 子育て家庭の支援

施策の方向	1-1 地域での子育て家庭の支援	1
	1-2 仕事と子育ての両立	6
	1-3 子育て家庭への経済的支援の充実	7

## 基本目標 2 母子の健康の確保と増進

施策の方向	2-1 母と子の健康づくり	9
	2-2 小児医療の充実	12

## 基本目標 3 教育環境の整備

施策の方向	3-1 学校教育の充実	13
	3-2 幼児教育の充実	16
	3-3 家庭や地域の教育力の向上	17

## 基本目標 4 子育てを支援する安全・安心な生活環境の整備

施策の方向	4-1 バリアフリーのまちづくり	18
	4-2 安全・安心なまちづくり	19
	4-3 子どもの居場所の確保	22

## 基本目標 5 支援が必要な子どもと家庭への取組の推進

施策の方向	5-1 児童虐待の防止の推進	23
	5-2 ひとり親家庭への支援	23
	5-3 障害児施策の充実	24
	5-4 生活困難を抱える家庭への支援	27
	5-5 外国人世帯への支援	28

## 教育・保育の量の見込み及びその提供体制の確保の内容

1	乳幼児期の教育・保育	29
2	地域子ども・子育て支援事業	30

## 「進捗状況」について

（「武蔵村山市第二期子ども・子育て支援事業計画 施策進捗状況一覧」 1頁～38頁）

目標の達成状況を以下の基準により「A」、「B」、「C」で示しています。  
なお、事業が終了したもの又は事業を行わないこととしたものについては、「/」としています。

### 令和5年度の実績と令和6年度までの目標とを比較

- 目標以上に事業を実施できたもの … 「A」
- 目標どおりに事業を実施できたもの … 「B」
- 目標を下回ったもの … 「C」
- 事業が終了したもの … 「/」  
事業を行わないこととしたもの

令和5年度実績		構成比 (%)
A	5事業	2.8
B	161事業	91.0
C	5事業	2.8
/	6事業	3.4
合計	177事業	100.0

基本目標 1 子育て家庭の支援

1-1 地域での子育て家庭の支援

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
1	71	認可保育所による通常保育事業	保護者の就労等により、家庭での保育に欠ける場合、保育を実施する。	13か所	13か所	B	【R4.4.1現在】 認可保育所 13か所 定員 1,953人 入所児童数 1,788人 待機児童数 12人	【R5.4.1現在】 認可保育所 13か所 定員 1,943人 入所児童数 1,743人 待機児童数 19人		保護者の就労等により、家庭での保育に欠ける場合、保育を実施する。	子ども育成課
2	71	地域型保育事業	少人数の単位で3歳未満児を対象とする小規模保育、家庭的保育、事業所内保育及び居宅訪問型保育事業の活用を図る。	未実施	1か所	B	【R4.4.1現在】 小規模保育所 1か所 定員 18名 入所児童数 4人 待機児童数 0人	【R5.4.1現在】 小規模保育所 1か所 定員 18名 入所児童数 14人 待機児童数 0人		少人数の単位で3歳未満児を対象とする小規模保育、家庭的保育、事業所内保育及び居宅訪問型保育事業の活用を図る。	子ども育成課
3	71,89	認定こども園の設置	認可保育所の保育機能と幼稚園の幼児教育機能を一体的に提供する認定こども園の活用を図る。	未実施	1か所	C	未実施	未実施	認定こども園の設置について、引き続き検討していく。	事業者からの相談に応じて検討していく。	子ども育成課
4	71	認証保育所事業	保育ニーズの多様化に対応するため、東京都が認証した認証保育所の活用を図る。	1か所	1か所	B	【R4.4.1現在】 認証保育所 1か所 定員 20人 入所児童数 11人	【R5.4.1現在】 認証保育所 1か所 定員 20人 入所児童数 9人		保育ニーズの多様化に対応するため、東京都が認証した認証保育所の活用を図る。	子ども育成課
5	71	ベビーシッター利用支援事業	0歳児から2歳児までの待機児童の保護者又は育児休業満了者を対象として、保育所等に入所できるまでの間、東京都の認定を受けたベビーシッター事業者の活用を図る。	未実施	実施	B	申請件数 1件	申請件数 3件		事業の利用を希望する保護者に対し、窓口やホームページ等により事業内容を周知する。	子ども育成課
6	71	延長保育事業	保護者の就労形態の多様化に対応し、延長保育を実施する。	11か所	13か所	B	保育所 11か所 30分延長利用児童数 延べ149人 1時間延長利用児童数 延べ12,284人 2時間延長利用児童数 延べ388人	保育所 11か所 30分延長利用児童数 延べ167人 1時間延長利用児童数 延べ10,378人 2時間延長利用児童数 延べ674人		【実施箇所】 11か所 【事業内容】 保護者の就労形態の多様化に対応し、延長保育を実施する。	子ども育成課
7	71	幼稚園における預かり保育事業	早朝、延長、長期休業期間中の預かり保育を実施する。	4か所	4か所	B	実施箇所 4か所 (東京多摩幼稚園、武蔵みどり幼稚園、むらやま幼稚園及び村山いずみ幼稚園)	実施箇所 4か所 (東京多摩幼稚園、武蔵みどり幼稚園、むらやま幼稚園及び村山いずみ幼稚園)		【実施箇所】 4か所 【事業内容】 幼稚園の園庭を定期的に開放し、幼児に集団で遊ぶ機会を与え、保護者同士の交流を図る。	子ども育成課
8	71	トワイライトステイ事業	保護者の就労等により、平日の夜間又は休日に家庭での保育が欠ける場合、保育を実施する。	未実施	1か所	／	未実施	未実施		トワイライトステイ事業のニーズがなく、ショートステイ事業で対応できていることから事業を実施していない。	子ども子育て支援課

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
9	72	休日保育事業	保護者の就労等により、日曜日や祝日の日中に家庭での保育に欠ける場合、保育を実施する。	未実施	1か所	B	実施箇所 1か所 利用児童数 延べ5人	実施箇所 1か所 利用児童数 延べ7人		保護者の就労等により、日曜日や祝日の日中に家庭での保育に欠ける場合、保育を実施する。	子ども育成課
10	72, 74, 95, 98	子ども家庭支援センター事業	子ども家庭総合支援拠点として、子どもと子育て家庭の支援に関する総合相談、在宅サービスの提供などの事業を実施するとともに、子育て世代包括支援センター（ハグはぐ・むらやま）との一体的運営による支援拠点の強化を図る。	実施中	拠点強化	B	コロナ禍の中、当課母子保健係が運営する子育て世代包括支援センター（ハグはぐ・むらやま）と密接に連携し、特定妊婦の早期発見、支援等を通じて、子ども家庭支援機能の充実を図った。 1 総合相談件数 461件 2 母子保健部門との連携会議 9回 3 関係機関との連携、調整会議 ・要保護児童対策地域協議会 ①代表者会議 1回 ②実務者会議 2回 ③個別ケース検討会議 31回	コロナ禍の中、当課母子保健係が運営する子育て世代包括支援センター（ハグはぐ・むらやま）と密接に連携し、特定妊婦の早期発見、支援等を通じて、子ども家庭支援機能の充実を図った。 1 総合相談件数 316件 2 母子保健部門との連携会議 12回 3 関係機関との連携、調整会議 ・要保護児童対策地域協議会 ①代表者会議 1回 ②実務者会議 3回 ③個別ケース検討会議 29回	児童福祉法の一部改正により従来の「子育て世帯包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」が有してきた機能を引き続き活かして子育て家庭に対する相談支援を実施する『子ども家庭センター』を令和6年4月1日に開所した。母子保健機能および児童福祉機能の一体的な運営を通じて、子どもとその家庭の福祉に関する包括的な支援のさらなる強化を図る。	子ども子育て支援課	
11	72, 73, 74	子育てセンター事業	市が指定した認可保育所で、子育てに関する相談や啓発活動、子育てサークルの育成・活動支援などの事業を実施する。	4か所	4か所	B	指定保育所数 4か所 （みらい保育園、聖光三ツ藤保育園、れんげ武蔵保育園及び村山中藤保育園「櫻」）	指定保育所数 4か所 （みらい保育園、聖光三ツ藤保育園、れんげ武蔵保育園及び村山中藤保育園「櫻」）		引き続き、子育てに関する相談や啓発活動、子育てサークルの育成・活動支援などの地域拠点として、子育てセンターを実施することで子育て家庭の福祉の向上を図る。	子ども子育て支援課
12	72	ファミリー・サポート・センター事業	仕事と育児の両立のため、緊急時等の相互援助を会員組織により実施する。	サポート会員148人	サポート会員150人	B	ファミリー会員 419人 サポート会員 148人 両方会員 19人	ファミリー会員 444人 サポート会員 127人 両方会員 17人		引き続き、子育て世帯の仕事と育児の両立を支援するとともに、地域における子育て支援のための環境を整備する。また、支援者側であるサポート会員の確保や育成に努める。	子ども子育て支援課
13	72	一時預かり事業	保育所における保育が行われていない乳幼児を対象に、保護者の疾病等による緊急時や、保護者の断続的・短時間就労等の就労形態の多様化に伴い、一時的に乳幼児を保育する。	4か所	4か所	B	実施箇所 4か所 （つみき保育園、村山中藤保育園「櫻」、村山中藤保育園「白樺」及びつむぎ保育園） 利用児童数 延べ344人	実施箇所 4か所 （つみき保育園、村山中藤保育園「櫻」、村山中藤保育園「白樺」及びつむぎ保育園） 利用児童数 延べ359人		保育所における保育が行われていない乳幼児を対象に、保護者の疾病等による緊急時や保護者の断続的・短時間就労等の就労形態の多様化に伴い、一時的に乳幼児を保育する。	子ども育成課
14	72	病児保育事業	生後6か月から小学校3年生までを対象に、保護者の就労等により、病気中や病気の回復期で保育所や小学校等へ通えない児童の家庭での保育に欠ける場合、一時的に児童を保育する。	1か所	1か所	B	実施箇所 1か所 利用児童数 延べ296人 病児（回復期含む） 296人	実施箇所 1か所 利用児童数 延べ296人 病児（回復期含む） 296人		引き続き、病気中や病気の回復期で保育所や小学校等へ通えない児童の一時的な保育として、病児保育事業の実施する。	子ども子育て支援課
15	72	ショートステイ事業	2歳から12歳まで（中学生を除く）を対象に、保護者が疾病等により、児童を家庭で養育できない場合、施設等で短期間（7日以内）児童を預かる。	1か所	1か所	B	実施箇所 1か所 利用児童数 延べ47人 利用日数 延べ134日	実施箇所 1か所 利用児童数 延べ74人 利用日数 延べ161日		疾病その他の事情により児童を家庭で養育できない保護者を支援するため、引き続きショートステイ事業を実施する。	子ども子育て支援課
16	72	子どもカフェ事業	0歳から就学前までを対象に、乳幼児及びその保護者が気軽に集い、交流を図る場を提供し、保護者の子育てに対する不安感、負担感を緩和する。	1か所	1か所	B	実施日 毎週火・水・木 実施時間 午前10時から午後2時まで 事業開催数 142回 参加人数 延べ1,457人 （内訳） 保護者数 667人 児童数 790人 ※10月に開催した試行実施分を含む。	実施日 毎週火・水・木 実施時間 午前10時から午後2時まで 事業開催数 181回 参加人数 延べ2,510人 （内訳） 保護者数 1,045人 児童数 1,465人 ※出張子どもカフェを含む。		令和6年3月をもって「子どもカフェ事業」は終了し、令和6年4月からは「子どもカフェ事業」を児童館で実施している「親子ひろば事業」と統合し、各地区会館や児童館を活用した「癒やかひろば事業」へと再編を行った。今後は「癒やかひろば事業」として開催地域及び回数を拡大し、事業を実施する。	子ども子育て支援課

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
17	72, 89	幼児教育・保育に関する支援を行う者の配置	幼児教育・保育の専門的な知見や豊富な実践経験を有する支援を行う者を配置し、幼児教育施設等への指導・助言等により幼児教育・保育の質の向上を図る。	未実施	実施	／	未実施	未実施		幼児教育・保育施設において専門人材の確保が困難であったことから未実施となっている。事業内容、事業の必要性等を検討する。	子ども育成課
18	72	民生・児童委員活動支援	各地域で住民の支援や相談に応ずるなどの民生・児童委員の活動を支援する。	実施中	継続	B	コロナ禍ではあったものの、小平児童相談所・子ども家庭支援センター・市内小中学校・東大和警察署・教育委員会・民生児童委員で連携し、地区連絡協議会を開催し、「明日を築く子どもたちのために～多様性を持った社会における子どもたちの現状と関係機関との連携～」について協議をした。 民生・児童委員 47名 民生・児童委員協議会活動費補助金 1,020,707円	小平児童相談所・子ども家庭支援センター・市内小中学校・東大和警察署・教育委員会・民生児童委員で連携した地区連絡協議会の開催及び日本赤十字、第一小学校の児童（4年生）と連携し独自の防災訓練を実施し、地域連携の取組みを行った。 民生・児童委員 50名 民生・児童委員協議会活動費補助金 748,945円		小平児童相談所・子ども家庭支援センター・市内小中学校・東大和警察署・教育委員会・民生児童委員で連携した地区連絡協議会の開催等、地域と連携した取組みを実施する。 民生・児童委員 50名 民生・児童委員協議会活動費補助金 1,299,000円	福祉総務課
19	73	子育て支援情報の提供	市報、市ホームページ、子育て情報アプリ等を活用しサービスの周知を図るとともに、子育てに関する情報を集約した小冊子を作成し、児童の保護者に提供する。	実施中	継続	B	実施中	実施中		引き続き、市報、市ホームページ、子育て情報アプリ、子育て応援ガイド等により、子育て情報の周知に努める。また、状況に応じてSNSについても活用していく。	子ども子育て支援課
20	73, 74, 80, 82	子育て世代包括支援センター（ハグはぐ・むらやま）	妊娠期から育児期にわたる「切れ目のない支援」のために、子育て世代包括支援センター（ハグはぐ・むらやま）に保健師等を配置し、「母子保健サービス」と「子育て支援サービス」を一体的に提供する。市内の全ての子育て家庭に対して妊娠期から保健師等が面接、相談等を行い、出産・子育てに関する不安を軽減するとともに、育児に関する悩み事等に対応する相談支援を行う。	面接率100%	面接率100%	B	面接率100%	面接率100%		妊娠期から育児期にわたる「切れ目のない支援」のために、子育て世代包括支援センター（ハグはぐ・むらやま）に保健師等を配置し、「母子保健サービス」と「子育て支援サービス」を一体的に提供する。市内の全ての子育て家庭に対して妊娠期から保健師等が面接、相談等を行い、出産・子育てに関する不安を軽減するとともに、育児に関する悩み事等に対応する相談支援を行う。	子ども子育て支援課
21	73	保育コンシェルジュ事業	保護者が保育サービスを適切に選択し、かつ、円滑に利用できるよう、保育サービスに係る情報の集約・提供、相談対応、利用の支援・援助を行う。	実施中	継続	B	窓口及び電話にて、保育所の入所に関する相談、保護者のニーズに合った保育サービスの情報提供等を実施した。	窓口及び電話にて、保育所の入所に関する相談、保護者のニーズに合った保育サービスの情報提供等を実施した。		窓口及び電話にて、保育所の入所に関する相談、保護者のニーズに合った保育サービスの情報提供等を実施する。	子ども育成課
22	73	幼稚園における相談情報提供等事業	保護者から子育てに関する相談に応じ、随時必要な情報の提供及び助言を行う。	実施中	継続	B	各幼稚園において実施	各幼稚園において実施		保護者から子育てに関する相談に応じ、随時必要な情報の提供及び助言を行う。	子ども育成課
23	73, 82	心理経過観察・心理相談・若年妊婦のための母性育成事業	0歳から就学前までを対象に、個別相談やグループ支援を通じて、保護者が抱える育児不安やストレスに対し、自ら問題解決に取り組めるよう支援を行う。また、個別相談では、個別性を理解しながら支援することで、母子（父子）の孤立化や虐待を未然に防ぐなど、保護者と乳幼児の心身の健全な育成発達を助長する。	実施中	継続	B	個別相談 ・3～4か月児 0人 ・1歳6か月児 9人 ・2歳児 57人 ・3歳児 130人  グループ ・ひよこ 42人（0～1歳半） ・コアラ 62人（1歳6か月～2歳6か月） ・うさちゃん 37人（2歳6か月～） ・ホッといむ 98人（若年妊産婦）	個別相談 ・3～4か月児 0人 ・1歳6か月児 7人 ・2歳児 51人 ・3歳児 127人  グループ ・ひよこ 29人（0～1歳半） ・コアラ 65人（1歳6か月～2歳6か月） ・うさちゃん 47人（2歳6か月～） ・ホッといむ 85人（若年妊産婦）		0歳から就学前までを対象に、個別相談やグループ支援を通じて、保護者が抱える育児不安やストレスに対し、自ら問題解決に取り組めるよう支援を行う。また、個別相談では、個別性を理解しながら支援することで、母子（父子）の孤立化や虐待を未然に防ぐなど、保護者と乳幼児の心身の健全な育成発達を助長する。	子ども子育て支援課

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
24	74, 98	養育家庭制度の周知及び理解と協力の促進	養育家庭制度の周知及び養育家庭に関わる人の理解と協力の促進を図る。	登録家庭数 0家庭	登録家庭数 1家庭	C	令和4年度実績 0家庭	令和5年度実績 0家庭	令和6年度目標である登録家庭1件に到達していないため	引き続き、養育家庭制度の周知及び養育家庭に関わる人の理解と協力の促進を図る。	子ども子育て支援課
25	74	スポーツ少年団運営支援	スポーツ大会への参加や講演会の開催、研修会等への人員派遣、指導者の育成・確保を支援する。	登録団体数 1団体	登録団体数 6団体	B	登録団体数 4団体	登録団体数 4団体		スポーツ団体の各種大会参加や研修会等への人員派遣、指導者の育成、確保を支援する。	スポーツ振興課
26	74	村山っ子相撲大会事業	小学生の心身の健全育成を図るため、「村山っ子相撲大会」を開催する。	実施中	継続	／	第13回村山っ子相撲大会わんぱく場所については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止とした。	【令和5年度事業廃止】 村山っ子相撲大会については、近隣で全大会等につながる地区予選となる大会が行われ、市民の多くが参加できるようになったため、令和5年度から事業を廃止することとした。			スポーツ振興課
27	74	少年・少女スポーツ大会	少年少女の体力的、精神的な育成を目的に、少年野球大会等を開催する。	実施中	継続	B	<第52回少年野球大会> 開催日：令和4年6月26日（日）、7月3日（日）、10日（日）の3日間 開催場所：総合運動公園運動場（第1・第3） 参加者：12チーム・163人 <第20回少年少女ドッジボール大会> 開催日：令和4年11月12日（土） 開催場所：総合体育館（第一体育室） 参加者：18チーム・256人 <第39回少年少女サッカー大会> 開催日：令和5年1月21日（土） 開催場所：総合運動公園運動場（第1・第2） 参加者：17チーム・167人	<第53回少年野球大会> 開催日：令和5年6月25日（日）、7月1日（土）、2日（日）の3日間 開催場所：総合運動公園運動場（第1・第3） 参加者：10チーム・145人 <第21回少年少女ドッジボール大会> 開催日：令和5年7月22日（土） 開催場所：総合体育館第一体育室 参加者：30チーム・434人 <第40回少年少女サッカー大会> 開催日：令和5年11月18日（土） 開催場所：総合運動公園運動場（第1・第2） 参加者：22チーム・232人	子どもの体力、精神的な育成を目的に、子どもを対象とした各種スポーツ大会を開催する。	スポーツ振興課	
28	74	百人一首大会	百人一首の楽しさを伝えるとともに、日本の良き伝統文化に触れることにより、子どもたちの豊かな心を育てることを目的として、小・中学生を対象に百人一首大会を実施する。	実施中	継続	B	令和4年11月26日（土）に参加人数 小学生の部26人（9チーム）中学生の部4人で百人一首大会を実施。	令和5年10月29日（土）に参加人数 小学生の部27人（9チーム）中学生の部4人で百人一首大会を実施。		令和7年1月19日（日）に大会実施予定。 また、年々参加者が減少する百人一首大会において、広く参加者を募る講座を開催予定。	文化振興課
29	75	子どもの健全育成サポート事業	子どもの健全な成長と安定した人間関係形成のサポート等を目的として、各種講演会を公共施設等において実施する。	実施中	継続	／	【令和2年度事業廃止】				子ども育成課
30	75	青少年教室研修会	体験活動を通して、リーダーシップ及びグループワークの大切さを学習し、将来の武蔵村山市を支えるリーダーとしての知識、技術、態度等の養成を行う。	実施中	継続	B	次世代を担う青少年を対象に、更なる健全な育成を目指し、様々な体験学習として、青少年教室の講座を実施した。	次世代を担う青少年を対象に、更なる健全な育成を目指し、様々な体験学習として、青少年教室の講座を実施した。		次世代を担う青少年を対象に、更なる健全な育成を目指し、様々な体験学習として、青少年教室の講座を実施予定。	文化振興課

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
31	75	青少年・青少年吹奏楽団の育成支援	大型楽器等の貸出しを行い、青少年の音楽活動を支援する。	実施中	継続	B	大型楽器（バスドラム、ビブラフォン、ティンパニー）の貸出しを行った。	大型楽器（バスドラム、ビブラフォン、ティンパニー）の貸出しを行った。		大型楽器（バスドラム、ビブラフォン、ティンパニー）の貸出しを行う。	文化振興課
32	75	青少年問題協議会	青少年健全育成基本方針に基づき、年度ごとに青少年健全育成重点施策を策定する。	実施中	継続	B	(第1回) 会議開催日 令和4年7月28日（木） 開催場所 武蔵村山市役所301会議室 議題 令和4年度武蔵村山市青少年健全育成重点施策（案）について等 (第2回) 会議開催日 令和4年11月7日（月） 開催場所 中部地区会館401大集会室 議題 武蔵村山市における青少年の現況及び非行・被害の防止対策について	(第1回) 会議開催日 令和5年7月27日（木） 開催場所 武蔵村山市役所301会議室 議題 (1) 武蔵村山市青少年問題協議会副会長の選出について (2) 令和5年度武蔵村山市青少年健全育成重点施策（案）について (3) 武蔵村山市における青少年の健全育成について (第2回) 会議開催日 令和5年11月10日（金） 開催場所 武蔵村山市役所301会議室 議題 武蔵村山市における青少年の現況及び非行・被害の防止対策について		青少年健全育成基本方針に基づき、令和6年度青少年健全育成重点施策を策定する。 また、関係行政機関等から青少年の健全育成等に関する情報の提供を受け、本協議会委員で情報共有する。	子ども育成課
33	75	青少年補導連絡会	青少年問題協議会で定めた施策に基づき、青少年の動向把握、環境浄化活動、街頭補導活動などを実施し、青少年の健全育成を図る。	実施中	継続	B	会議（総会1回・理事会2回開催） 総会開催日 令和4年7月5日（火） 開催場所 さくらホール（市民会館）展示室 議題 令和4年度武蔵村山市青少年補導連絡会事業計画（案）について等 理事会開催日（第1回） 令和4年10月7日（金） 開催場所 中部地区会館403集会室 議題 令和4年度武蔵村山市青少年補導連絡会事業（下半期）について等 理事会開催日（第2回） 令和5年3月22日（水） 開催場所 中部地区会館401大集会室 議題 令和5年度武蔵村山市青少年補導連絡会事業計画（案）について等	会議（総会1回・理事会2回開催） 総会開催日 令和5年6月21日（水） 開催場所 中部地区会館401大集会室 議題 令和5年度武蔵村山市青少年補導連絡会事業計画（案）について等 理事会開催日（第1回） 令和5年10月27日（金） 開催場所 さくらホール（市民会館）会議室1・2 議題 令和5年度武蔵村山市青少年補導連絡会事業（下半期）について 理事会開催日（第2回） 令和6年3月19日（火） 開催場所 中部地区会館405会議室 議題 令和6年度武蔵村山市青少年補導連絡会事業計画（案）について		令和6年度活動予定 会議（総会1回・理事会2回開催） 広報啓発活動（秋のこどもまんなか月間） 夏期街頭補導活動 2回 冬期街頭補導活動 1回	子ども育成課



項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
34	75	青少年対策地区委員会	青少年問題協議会で定めた施策に基づき、地域社会の力を結集し、青少年の健全育成を図る。	実施中	継続	B	市立小学校の通学区を単位として9つの青少年対策地区委員会が設置され、地区委員会ごとに青少年の健全育成に係る事業を実施した。また、各地区委員会の活動を支援するため、青少年対策地区活動推進事業補助金を交付した。 補助金交付確定額 1,211,014円	市立小学校の通学区を単位として9つの青少年対策地区委員会が設置され、地区委員会ごとに青少年の健全育成に係る事業を実施した。また、各地区委員会の活動を支援するため、青少年対策地区活動推進事業補助金を交付した。 補助金交付確定額 1,488,056円		青少年対策地区委員会（全9地区）ごとに青少年の健全育成に係る事業を実施する。また、各地区委員会の活動を支援するため、青少年対策地区活動推進事業補助金を交付する。 補助金交付決定額（確定前） 1,715,508円	子ども育成課
35	75	北多摩地区保護観察協会活動支援	北多摩地区の17市で構成し、犯罪予防、更生活動及び地域社会の環境浄化に取り組んできた北多摩地区保護観察協会の活動を支援する。	実施中	継続	B	北多摩西地区保護観察協会負担金 490,882円	北多摩西地区保護観察協会負担金 487,949円		引き続き、北多摩地区保護観察協会の活動を支援する。 北多摩西地区保護観察協会負担金 483,252円	福祉総務課
36	75	北多摩西地区保護司会武蔵村山分区補助金	青少年の犯罪の予防、保護観察研修会及び更生活動等を行っている北多摩西地区保護司会武蔵村山分区へ活動費の一部の補助を行う。	実施中	継続	B	保護司 22名（令和5年3月31日時点） 補助金交付額 336,000円	保護司 24名（令和6年3月31日時点） 補助金交付額 308,000円		引き続き、北多摩西地区保護司会武蔵村山分区に対して活動費の一部の補助を行う。 保護司 24名（令和6年4月1日時点） 補助金交付額 336,000円	福祉総務課
37	75	社会を明るくする運動推進委員会活動支援	地域住民の理解と協力により、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人や非行に陥った少年の更生を支えることを目的に運動を実施している社会を明るくする運動推進委員会の活動を支援する。	実施中	継続	B	社会を明るくする運動に対する理解を深めてもらうことを目的として、市内中学生を対象に作文コンテストを実施した。また、市内商業施設における街頭広報活動及び村山デエダラまつりにおいても街頭広報活動を実施した。 武蔵村山市社会を明るくする運動推進委員会負担金 280,000円	社会を明るくする運動に対する理解を深めてもらうことを目的として、以下の事業を実施した。 1 市内中学生を対象とした作文コンテストの実施 2 市内中学生とともに市内商業施設における街頭広報活動の実施 3 イベント（映画と音楽のつどい）において合唱団による合唱及び作文コンテスト入賞者による発表を実施 武蔵村山市社会を明るくする運動推進委員会負担金 280,000円		社会を明るくする運動に対する理解を深めてもらうことを目的として、以下の事業を実施予定 1 市内中学生を対象とした作文コンテストの実施 2 市内中学生とともに市内商業施設における街頭広報活動の実施 3 イベント（映画と音楽のつどい）において合唱団による合唱及び作文コンテスト入賞者による発表を実施 武蔵村山市社会を明るくする運動推進委員会負担金 280,000円	福祉総務課

## 1-2 仕事と子育ての両立

38	76	男女共同参画促進のための啓発事業	男女共同参画計画に基づく、男女共同参画促進のためのフォーラムや講座の開催、情報誌の発行、パンフレットの作成等を行う。	実施中	継続	B	YOU・Iフォーラム参加者数 75人 情報誌YOU★I 年3回発行 男女共同参画に関する講座 延べ43回開催 909人	YOU・Iフォーラム参加者数 59人 情報誌YOU★I 年3回発行 男女共同参画に関する講座 延べ44回開催 653人		引き続き、男女共同参画センターにおいて講座等を計画する。	協働推進課
----	----	------------------	--	-----	----	---	---	---	--	------------------------------	-------

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
39	76	ワーク・ライフ・バランス推進事業所の認定	市内事業所を対象としてワーク・ライフ・バランス推進事業所の認定を行い、普及・啓発することにより、ワーク・ライフ・バランスの推進を図る。	認定件数 0件	認定件数 5件	A	市内の4事業所を認定し、延べ11事業所を認定。	市内の3事業所を認定し、延べ14事業所を認定。	令和6年度までに5事業所の認定を目標値としていたが、制度を開始した令和3年度において目標値を達成した。	令和6年度においても、市内事業所からの募集を行う。	協働推進課
40	76	育児休業取得に向けての環境づくり	育児休業を取得しやすい環境づくりを市が率先して推進するため、市職員に向けて育児休業関連制度を周知し、職場における機運の醸成を図るとともに、男性職員の育児休業取得を促進する。	新規育児休業対象男性職員の取得割合 5.5% (5か年平均)	新規育児休業対象男性職員の取得割合 15% (5か年平均)	A	育児休業の対象となる男性職員及びその所属長に対し、育児休業取得の提案及び個人の事情等に配慮した具体的な情報提供を行った。	育児休業の対象となる男性職員及びその所属長に対し、育児休業取得の提案及び個人の事情等に配慮した具体的な情報提供を行った。	令和5年度実績 46.5% (5か年平均)	前年度の取組内容を継続して行う。	職員課
41	77	ハローワーク求人情報の提供	ハローワーク及び東京しごとセンターとの連携のもと、就職支援情報やパンフレット等の提供を行う。また、東京都労働相談情報センターと連携し、就職・再就職への情報収集を支援する環境整備を行う。	実施中	継続	B	本庁舎1階ロビーの求人情報コーナーにおいて、ハローワークからの求人情報及びその他関係機関の事業等の周知に努めた。	本庁舎1階ロビーの求人情報コーナーにおいて、ハローワークからの求人情報及びその他関係機関の事業等の周知に努めた。また、マザーズハローワーク立川と連携し、出張相談会を3回実施した。		①本庁舎1階ロビーの求人情報コーナーにおいて、ハローワークからの求人情報及びその他関係機関の事業等の周知 ②マザーズハローワーク立川出張相談会の定期実施(隔月偶数月に実施予定) ③小学校及び中学校へマザーズハローワーク事業のチラシを配布する。	産業観光課
42	77	資格・技能情報の収集と提供	就職・再就職を支援するために、高齢・障害・求職者雇用支援機構、東京しごとセンター等が実施する能力開発事業、資格取得等の支援事業の周知、案内・紹介を行う。	実施中	継続	B	本庁舎1階ロビーの求人情報コーナーにおいて、ハローワークからの求人情報及びその他関係機関の事業等の周知に努めた。	本庁舎1階ロビーの求人情報コーナーにおいて、ハローワークからの求人情報及びその他関係機関の事業等の周知に努めた。		本庁舎1階ロビーの求人情報コーナーにおいて、ハローワークからの求人情報及びその他関係機関の事業等の周知を行う。	産業観光課

### 1-3 子育て家庭への経済的支援の充実

43	78	出産育児一時金	国民健康保険の被保険者が出産した場合、出産育児一時金を支給する(他の健康保険に加入している場合は、加入している健康保険から支給される。)	実施中	継続	B	支給件数 57件 一時金支給総額 23,928,000円	支給件数 46件 一時金支給総額 22,198,680円		国民健康保険の被保険者が出産した場合、出産育児一時金を支給する(他の健康保険に加入している場合は、加入している健康保険から支給される。)	保険年金課
44	78	児童手当	家庭における生活の安定と次代を担う児童の健全育成及び資質の向上を図るため、中学校3年生までの児童を養育している保護者等に手当を支給する。	実施中	継続	B	支給対象児童数 延べ104,248人 手当支給総額 1,138,725,000円	支給対象児童数 延べ98,611人 手当支給総額 1,072,960,000円		家庭における生活の安定と次代を担う児童の健全育成及び資質の向上を図るため、中学校3年生までの児童を養育している保護者等に手当を支給する。	子ども育成課

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
45	78	子どもの医療費助成事業	就学前児童の保険診療に係る医療費の自己負担分及び入院時の食事を助成する。また、6歳に達する日の翌日以後の4月1日から15歳に達する日以後の3月31日までの義務教育就学中の児童の保険診療に係る医療費の一部を助成する。	実施中	継続	A	乳幼児医療 助成件数 延べ59,129件 助成額 119,525,693円 義務教育就学児医療 助成件数 54,088件 助成費 127,459,904円	乳幼児医療 助成件数 延べ66,198件 助成額 128,591,126円 義務教育就学児医療 助成件数 66,963件 助成費 158,882,024円 高校生等医療 助成件数 延べ13,785件 助成額 35,713,339円	令和5年4月1日からは高校生等医療費助成事業(対象児童の範囲を高校生等まで拡大)を開始し、令和5年10月1日からは義務教育就学児医療費助成の所得制限を撤廃することで、子育て世帯の経済的負担の軽減と福祉向上に資することができたため。	引き続き、対象児童の保険診療に係る医療費の一部を助成する。 なお、令和6年10月1日から義務教育就学児医療費助成の自己負担を撤廃するとともに、高校生等医療費助成の自己負担及び所得制限を撤廃する。	子ども育成課
46	78	多子世帯に対する国民健康保険税の減免事業	国民健康保険の18歳未満の被保険者が2人以上いる場合であって、世帯の所得が200万円以下の場合に第2子に係る国民健康保険税の均等割額を半額に、第3子以降に係る均等割額を免除する。	実施中	令和3年度まで継続	B	件数 108件 金額 1,541,200円	件数 86件 金額 1,167,500円		国民健康保険の18歳未満の被保険者が2人以上いる場合であって、世帯の所得が200万円以下の場合に第2子に係る国民健康保険税の均等割額を半額に、第3子以降に係る均等割額を免除する。	保険年金課
47	78	保育所等利用多子世帯負担軽減事業	子どもを2人以上持つ世帯が保育所等を利用した際に、第2子の保育料を第1子の半額に、第3子を無償にすることにより、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備する。	令和元年10月から実施	継続	B	児童数 延べ2,236人	児童数 延べ3,496人		子どもを2人以上持つ世帯が保育所等を利用した際に、第2子の保育料を第1子の半額に、第3子を無償にすることにより、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備する。 (令和5年10月からは第2子以降無償に拡充された。)	子ども育成課
48	78	認可外保育施設利用支援事業補助金	認可外保育施設の利用者に対して保育料の一部の補助を行う。	実施中	継続	B	児童数 利用者支援 延べ34人 多子世帯支援 延べ60人 補助額 合計1,492,000円	児童数 利用者支援 延べ16人 多子世帯支援 延べ47人 補助額 合計1,332,000円		認可外保育施設の利用者に対して保育料の一部の補助を行う。	子ども育成課
49	78, 89	私立幼稚園等園児保護者負担軽減補助金	私立幼稚園等に通園する園児の保護者に対し、補助金を交付することによって保護者の負担軽減を図る。	実施中	継続	B	対象者 延べ 7,792人 補助金支給総額 42,545,450円	対象者 延べ 6,983人 補助金支給総額 40,457,200円		私立幼稚園等に通園する園児の保護者に対し、補助金を交付することによって保護者の負担軽減を図る。	子ども育成課
50	78	就学援助費支給事務	経済的理由によって就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対して、学用品費、給食費等の補助を行う。	実施中	継続	B	支給児童・生徒数 延846人 援助費支給総額 60,854,530円	支給児童・生徒数 延べ776人 援助費支給総額 57,808,459円		経済的理由によって就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対して、学用品費、給食費等の補助を行う。	教育総務課
51	78	修学旅行・移動教室保護者負担軽減事業	学校外に教育の場を求めて行われる修学旅行及び移動教室の教育活動に対して、宿舍借上料の一部を補助し、保護者の負担軽減を図る。	実施中	継続	B	移動教室 小学校6年生 646人 補助総額 3,553,000円 中学校2年生及び1年生 1,243人 補助総額 6,836,500円 修学旅行 中学校3年生 691人 補助総額 6,011,700円	移動教室 小学校6年生 648人 補助総額 3,564,000円 移動教室 中学校1年生 549人 補助総額 3,019,500円 修学旅行 中学校3年生 640人 補助総額 5,568,000円		修学旅行及び移動教室に対して、宿舍借上料の一部を補助し、保護者の負担軽減を図る。	教育総務課
52	79	奨学資金	学校教育法第1条又は同法第124条に規定する高等学校等に在学し、向学心旺盛にして、かつ、経済的理由により修学困難な者に修学上必要な資金を支給する。	実施中	継続	B	対象者 65人 奨学資金支給総額 4,260,000円	対象者 70人 奨学資金支給総額 4,160,000円		学校教育法第1条又は同法第124条に規定する高等学校等に在学し、向学心旺盛にして、かつ、経済的理由により修学困難な者に修学上必要な資金を支給する。	教育総務課

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
53	79	生活保護受給世帯に対する健全育成経費交付事業	被保護世帯に属する児童・生徒に対し、健全育成経費を交付する。	実施中	継続	B	支給件数 226件 ・夏季健全育成費 78件 ・学童服・運動衣の支給 129件 ・修学旅行参加支度金 19件 支給金額 1,285,400円	支給件数 265件 ・夏季健全育成費 94件 ・学童服・運動衣の支給 157件 ・修学旅行参加支度金 14件 支給金額 1,544,100円		被保護世帯に属する児童・生徒に対し、健全育成経費を交付する。	生活福祉課
54	79	被保護者自立促進事業	次世代育成の観点から、自立支援プログラムに基づき学習塾等への通塾や、夏季・冬季講座、通信講座、補習講座等の受講等により、在宅での学習環境を整える必要が認められる生活保護法に基づく被保護世帯の児童・生徒を対象とし、その経費の一部を支給する。	実施中	継続	B	支給件数 9件 ・地域生活移行支援 3件 ・次世代育成支援 5件 ・就労支援 0件 ・社会参加活動支援 1件 支給金額 703,658円	支給件数 13件 ・地域生活移行支援 3件 ・次世代育成支援 8件 ・就労支援 0件 ・社会参加活動支援 2件 支給金額 896,194円		次世代育成の観点から、自立支援プログラムに基づき学習塾等への通塾や、夏季・冬季講座、通信講座、補習講座等の受講等により、在宅での学習環境を整える必要が認められる生活保護法に基づく被保護世帯の児童・生徒を対象とし、その経費の一部を支給する。	生活福祉課

## 基本目標2 母子の健康の確保と増進

### 2-1 母と子の健康づくり

55	80,90	パパとママのマタニティークラス (母親学級・両親学級)	妊産婦、配偶者等を対象に、妊娠・出産・産褥期の育児等についての講義と実習を行う。また、受講妊婦を対象に歯科健康診査を行う。	参加者数 116人	参加者数 144人	B	両(母)親学級 6学級 参加者数延べ93人	両(母)親学級 6学級 参加者数延べ161人		妊産婦、配偶者等を対象に、妊娠・出産・産褥期の育児等についての講義と実習を行う。また、受講妊婦を対象に歯科健康診査を行う。	子ども子育て支援課
56	80,82,100	妊産婦健康診査及び新生児聴覚検査等	妊婦の健康管理を助け、妊婦及び乳幼児の死亡率低下、障害発生の予防を図るために、妊産婦健康診査を実施する。新生児聴覚検査は、早期発見、早期療育により聴覚障害による音声言語発達等への影響が最小限に抑えられることから、おおむね生後3日以内の全ての新生児を対象に、出生した分べん取扱機関で実施する。その他先天性代謝異常等検査は、生後5日目～7日目の新生児を対象に、早期発見、早期治療により知的障害などを防ぐ可能性が高い病気(フェニルケトン尿症等の代謝異常及び先天性甲状腺機能低下症など)のスクリーニング検査を行う。	実施中	継続	B	妊婦健康診査 14回 延べ4,357人 超音波検査 346人 子宮頸がん検診(平成28年度から追加) 340人 新生児聴覚検査(令和元年度から追加) 358人 里帰り助成 60人(妊婦健診35人、新生児聴覚 25人)	妊婦健康診査 14回 延べ3,923人 超音波検査 636人 子宮頸がん検診(平成28年度から追加) 329人 新生児聴覚検査(令和元年度から追加) 309人 里帰り助成 40人(妊婦健診23人、新生児聴覚 17人)		妊婦の健康管理を助け、妊婦及び乳幼児の死亡率低下、障害発生の予防を図るために、妊産婦健康診査を実施する。新生児聴覚検査は、早期発見、早期療育により聴覚障害による音声言語発達等への影響が最小限に抑えられることから、おおむね生後3日以内の全ての新生児を対象に、出生した分べん取扱機関で実施する。その他先天性代謝異常等検査は、生後5日目～7日目の新生児を対象に、早期発見、早期治療により知的障害などを防ぐ可能性が高い病気(フェニルケトン尿症等の代謝異常及び先天性甲状腺機能低下症など)のスクリーニング検査を行う。	子ども子育て支援課
57	80,100	精密健康診査	妊婦健康診査、乳幼児健康診査の結果、精密健康診査の必要が認められた妊婦、乳幼児に対して公費負担で精密健康診査を行う。	実施中	継続	B	3～4か月児健康診査 精密健康診査受診者数 13人 1歳6か月児健康診査 精密健康診査受診者数 3人 3歳児健康診査 精密健康診査受診者数 47人	3～4か月児健康診査 精密健康診査受診者数 3人 1歳6か月児健康診査 精密健康診査受診者数 1人 3歳児健康診査 精密健康診査受診者数 44人		妊婦健康診査、乳幼児健康診査の結果、精密健康診査の必要が認められた妊婦、乳幼児に対して公費負担で精密健康診査を行う。	子ども子育て支援課
58	81,100	こんにちは赤ちゃん(乳児全戸訪問)事業及び妊産婦・新生児等訪問指導	全ての妊産婦・乳児がいる家庭を保健師又は助産師が訪問し、産婦の健康状態、新生児の発育・疾病予防等について、指導・助言を行うほか、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行う。また、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結び付けることにより、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図る。	訪問率99%	訪問率100%	B	令和4年度訪問率 89.4% 妊婦訪問指導 延べ5人 産婦訪問指導 延べ363人 新生児(未熟児を除く) 延べ340人 未熟児 延べ34人	令和5年度訪問率 99.1% 妊婦訪問指導 延べ18人 産婦訪問指導 延べ343人 新生児(未熟児を除く) 延べ321人 未熟児 延べ29人		全ての妊産婦・乳児がいる家庭を保健師又は助産師が訪問し、産婦の健康状態、新生児の発育・疾病予防等について、指導・助言を行うほか、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行う。また、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結び付けることにより、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図る。	子ども子育て支援課

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
59	81, 82, 100	乳幼児健康診査	身体発育、運動機能、精神発達の状態等を診査し、栄養、歯科、育児等に関する指導を実施する。なお、乳幼児健康診査は、3か月～4か月児、1歳6か月児、3歳児において実施する。	実施中	継続	B	3～4か月児健康診査 受診者398人、対象者420人(94.8%) 6～7か月児健康診査 受診者380人、対象者420人(90.5%) 9～10か月児健康診査 受診者358人、対象者420人(85.2%) 1歳6か月児健康診査 受診者428人、対象者460人(93.0%) 3歳児健康診査 受診者515人、対象者529人(97.4%)	3～4か月児健康診査 受診者333人、対象者346人(96.2%) 6～7か月児健康診査 受診者318人、対象者346人(91.9%) 9～10か月児健康診査 受診者356人、対象者346人(102.9%) 1歳6か月児健康診査 受診者409人、対象者424人(96.5%) 3歳児健康診査 受診者474人、対象者489人(96.9%)		身体発育、運動機能、精神発達の状態等を診査し、栄養、歯科、育児等に関する指導を実施する。なお、乳幼児健康診査は、3～4か月児、1歳6か月児、3歳児において子ども・子育て支援センターで実施する。	子ども子育て支援課
60	81	予防接種	予防接種法に基づく定期予防接種、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)に基づく結核検診を実施し、感染症等の予防に努める。	実施中	継続	B	四種混合：延べ1,626人 二種混合：延べ425人 麻しん・風しん混合：延べ1,023人 日本脳炎：延べ2,615人 小児肺炎球菌：延べ1,577人 ヒブ：延べ1,570人 水痘：延べ755人 B型肝炎：延べ1,205人 ロタ：延べ910人 子宮頸がん：817人 B C G：415人	四種混合：延べ1,446人 二種混合：延べ608人 麻しん・風しん混合：延べ910人 日本脳炎：延べ2,092人 小児肺炎球菌：延べ1,355人 ヒブ：延べ1,353人 水痘：延べ748人 B型肝炎：延べ973人 ロタ：延べ735人 子宮頸がん：791人 B C G：322人		予防接種法に基づく定期予防接種、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)に基づく結核検診を実施し、感染症等の予防に努める。	健康推進課
61	81	乳幼児歯科健康教室(かむかむキッズ)	10か月児から1歳6か月児の乳幼児を対象に、初期のむし歯予防を目的とした食事のポイント、おやつを試食、歯みがき等について講話を行う。	実施中	継続	B	実施回数 12回 実施場所 子ども・子育て支援センター 参加者数 69人 ※「おやつを試食(提供可能時期のみ)」、「口腔機能の発達に合わせた食形態の展示」を実施した。	実施回数 12回 実施場所 子ども・子育て支援センター 参加者数 68人 ※「おやつを試食(提供可能時期のみ)」、「口腔機能の発達に合わせた食形態の展示」を実施した。		10か月児から1歳6か月児の乳幼児を対象に、初期のむし歯予防を目的とした食事のポイント、おやつを試食、歯みがき等について講話を行う。	子ども子育て支援課
62	81	乳幼児歯科相談	主に1歳前後～4歳児の乳幼児を対象に、歯科健診や歯みがきの相談を定期的に実施する。	実施中	継続	B	実施回数 12回 実施場所 子ども・子育て支援センター 参加者数 540人	実施回数 16回 実施場所 子ども・子育て支援センター 参加者数 657人		主に1歳前後～4歳児の乳幼児を対象に、歯科健診や歯みがきの相談を定期的に実施する。	子ども子育て支援課
63	81	健康づくり推進協議会	市民健康づくり推進協議会を開催し、生活習慣病予防、健診事業、健康コーナー等について協議する。	実施中	継続	B	武蔵村山市健やかプラン(第三次健康増進計画、第三次食育推進計画、第二次母子母子保健計画)に基づき、健康づくり推進協議会で施策・事業の推進状況等の把握・点検を行った。 健康づくり推進協議会 2回	武蔵村山市健やかプラン(第三次健康増進計画、第三次食育推進計画、第二次母子母子保健計画)に基づき、健康づくり推進協議会で施策・事業の推進状況等の把握・点検を行った。 健康づくり推進協議会 2回		武蔵村山市健やかプラン(第三次健康増進計画、第三次食育推進計画、第二次母子母子保健計画)に基づき、健康づくりに関する施策・事業の点検等を行う。	健康推進課
64	81	イベントへの健康コーナーの設置	ポスターやパネル等を活用して、多くの市民に母子保健事業や子どもの成長を社会全体で支え合う必要性を具体的に紹介する。	実施中	継続	B	実施回数 2回 実施場所 武蔵村山市役所 市民総合センター 内容 栄養・歯科に係る普及啓発 児童虐待防止に係る普及啓発	実施回数 1回 実施場所 武蔵村山市役所 市民総合センター 内容 栄養・歯科に係る普及啓発		引き続き、ポスターやパネル等を活用して、多くの市民に母子保健事業や児童福祉に関する普及啓発を実施する。	子ども子育て支援課
65	82	保健指導票の交付	経済的な理由で医療機関での健康診査を受けることが困難な妊産婦や乳幼児に対して、保健指導票の交付を行う。	実施中	継続	B	産婦 1人 乳幼児 1人	産婦 2人 乳幼児 2人		経済的な理由で医療機関での健康診査を受けることが困難な妊産婦や乳幼児に対して、保健指導票の交付を行う。	子ども子育て支援課

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
66	82	入院助産	分べん費用の支払が困難な者を助産施設に措置する。	実施中	継続	B	助産人員 3人 助産施設助産費 2,015,080円	助産人員 3人 助産施設助産費 1,398,720円		引き続き、分べん費用の支払が困難な妊産婦を助産施設に措置する入院助産を実施する。	子ども子育て支援課
67	82	育児支援ヘルパー事業	出産後間もないため家事や育児が困難な家庭(退院日の翌日から3か月以内)に対して、訪問して身の回りの世話や育児を行う。	実施中	継続	B	派遣回数 26回 利用世帯数 4世帯	派遣回数 74回 利用世帯数 6世帯		引き続き、出産後間もないため家事や育児が困難な家庭に対して、家事育児サポートが支援する。なお、令和5年度から対象年齢を3歳未満の児童がいる家庭に拡大し、支援の強化を図っている。	子ども子育て支援課
68	83	未熟児養育医療等助成	未熟児養育医療については、身体の発育が未熟なまま出生した乳児に対し、速やかに適切な処置を講ずる必要があるため、指定養育医療機関に入院させ、必要な医療の給付を行うほか、医療費の自己負担分の助成を行う。その他特定不妊治療費用及び不妊検査等費用の助成、妊娠高血圧症候群等の医療の給付及び医療費の自己負担分の助成を行う。	実施中	継続	B	養育医療受件数 12件 未熟児訪問 延べ34人	養育医療受件数 8件 未熟児訪問 延べ29人		未熟児養育医療については、身体の発育が未熟なまま出生した乳児に対し、速やかに適切な処置を講ずる必要があるため、指定養育医療機関に入院させ、必要な医療の給付を行うほか、医療費の自己負担分の助成を行う。その他特定不妊治療費用及び不妊検査等費用の助成、妊娠高血圧症候群等の医療の給付及び医療費の自己負担分の助成を行う。	子ども子育て支援課
69	83	児童館親子ひろば事業	児童館の午前中の比較的用户数が少ない時間帯を利用し、乳幼児及びその保護者を対象に歌遊びや絵本の読み聞かせなどを行いながら交流や子育てで相談できる居場所の提供を図る。	実施中	継続	B	実施回数：48回 参加人数：1,123人	実施回数：48回 参加人数：1,123人		令和6年度から「健やかひろば事業」に変更となり、子ども子育て支援課の所管となる。	子ども育成課 (児童館)
70	83	ブックスタート事業	乳児とその保護者の触れ合いの大切さを伝えるため、3か月～4か月児健康診査時に乳児を対象に絵本をプレゼントし、簡単な読み聞かせを行う。	実施中	継続	B	引き続き、感染症等拡大防止のため、健康診査時に事業の案内と本の引換券を配布し、希望者が図書館に取りに来る方法をとった。 配布冊数181冊	昨年度と同様に感染症等拡大防止のため、健康診査時に事業の案内と本の引換券を配布し、希望者が図書館に取りに来る方法をとった。 配布冊数212冊		感染症対策を行いながら3か月～4か月児健康診査時に乳児を対象に絵本をプレゼントし、簡単な読み聞かせを行う。	図書館
71	83	離乳食教室(初期・中期)	4か月～8か月頃の乳児の保護者を対象に、試食や調理実習を通して離乳食の進め方を学ぶ教室を実施する。	実施中	継続	B	実施場所 子ども・子育て支援センター 開催回数・参加者 初期 12回 参加者 67人 中期 10回 参加者 66人 ※新型コロナウイルスの影響により「調理実習」は実施せず、「試食(提供可能時期のみ)・講話・調理実演」を実施した。	実施場所 子ども・子育て支援センター 開催回数・参加者 初期 12回 参加者 68人 中期 10回 参加者 52人 ※新型コロナウイルスの影響により「調理実習」は実施せず、「試食・講話・調理実演」を実施した。		4か月～8か月頃の乳児の保護者を対象に、試食や調理実習を通して離乳食の進め方を学ぶ教室を実施する。	子ども子育て支援課
72	83	学校給食	郷土食・行事食献立の実施及び地場農産物の積極的な利用を図るとともに、給食だよりや毎月の予定献立表の紙面、給食試食会等を通じ、食に関する指導及び情報提供を行う。	児童・生徒1人当たり地場産食材使用量 4.9kg/年	維持	B	児童・生徒1人当たり地場産食材使用量 6.03kg/年	児童・生徒1人当たり地場産食材使用量 6.05kg/年		郷土食・行事食献立の実施及び地場農産物の積極的な利用を図るとともに、給食だよりや毎月の予定献立表の紙面、給食試食会等を通じ、食に関する指導及び情報提供を行う。	学校給食課

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
<b>2-2 小児医療の充実</b>											
73	84	小児初期救急平日準夜診療事業	市が担う一次救急医療として、平日の準夜帯に小児急病者の診療を実施する。	実施中	継続	B	武蔵村山病院において、午後7時から午後9時30分まで（年末年始を除く）小児初期救急平日準夜急患の診療を実施している。	武蔵村山病院において、午後7時から午後9時30分まで（年末年始を除く）小児初期救急平日準夜急患の診療を実施している。		平日の準夜帯に小児急病者の診療を実施する。	健康推進課
74	84	休日急患診療事業	休日・祝日及び年末年始における急病者の診療を実施する。	実施中	継続	B	休日、祝日及び年末年始における急病者の診療を実施した。 受診者数：延べ366人 実施場所：保健相談センター	休日、祝日及び年末年始における急病者の診療を実施した。 受診者数：延べ828人 実施場所：保健相談センター		休日・祝日及び年末年始における急病者の診療を実施する。	健康推進課
75	84	休日準夜急患診療事業	休日及び祝日の準夜における急病者の診療を実施する。	実施中	継続	B	休日及び祝日の準夜における急病者の診療を実施した。 受診者数 延べ28人 実施場所 保健相談センター	休日及び祝日の準夜における急病者の診療を実施した。 受診者数 延べ111人 実施場所 保健相談センター		休日及び祝日の準夜における急病者の診療を実施する。	健康推進課
76	84	休日歯科急患診療事業	休日及び年末年始における急病者の診療を実施する。	実施中	継続	B	休日及び年末年始における歯科の急病者の診療を実施した。 受診者数：延べ164人 実施場所：市内歯科医療機関の1か所持ち回りによる輪番制	休日及び年末年始における歯科の急病者の診療を実施した。 受診者数：延べ160人 実施場所：市内歯科医療機関の1か所持ち回りによる輪番制		休日及び年末年始における急病者の診療を実施する。	健康推進課

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
基本目標3 教育環境の整備											
3-1 学校教育の充実											
77	85	授業改善推進プランの作成・活用	市内全小・中学校の学力調査の結果等に基づき、各学校において「授業改善推進プラン」を作成し、授業の質的向上を図るとともに、児童・生徒一人一人の学力向上を目指す。	市学力・学習状況調査(中学校1年生全生徒)の国語の平均正答率と当該調査における全国平均正答率との相対比率91.6%	市学力・学習状況調査(中学校1年生全生徒)の国語の平均正答率と当該調査における全国平均正答率との相対比率100%	B	授業改善推進プランについては児童・生徒の日頃の学習状況から見取り作成を行い、各学校のホームページで公開した。個々の教員が授業改善推進プランを作成することを通して、児童・生徒の実態を踏まえた日々の授業改善及び個に応じた指導の充実が図られた。	授業改善推進プランについては児童・生徒の日頃の学習状況から見取り作成を行い、各学校のホームページで公開した。個々の教員が授業改善推進プランを作成することを通して、児童・生徒の実態を踏まえた日々の授業改善及び個に応じた指導の充実が図られた。	引き続き諸学力調査の結果分析を通して把握した各学年の実態を踏まえ、授業改善推進プランを作成・活用することで、一人一人の児童・生徒に応じた指導の充実を図っていく。	教育指導課	
78	85	個に応じた指導の実施	児童・生徒の学習意欲の向上や学力の向上を図るため、少人数指導、習熟度別指導、チーム・ティーチング等による個に応じたきめ細やかな指導を実施する。	実施中	継続	B	全小・中学校において、学習意欲の向上や学力の向上を図るために、少人数指導、習熟度別指導、チーム・ティーチング等による児童・生徒への個に応じたきめ細やかな指導を実施した。少人数指導により、一人一人の児童・生徒に対して教員が丁寧に説明でき、児童・生徒の理解が深まったり、理解に時間のかかる児童・生徒が習熟度別指導によって意欲的に取り組んだりするなど、具体的な児童・生徒の姿として、その成果が表れていた。	全小・中学校において、学習意欲の向上や学力の向上を図るために、少人数指導、習熟度別指導、チーム・ティーチング等による児童・生徒への個に応じたきめ細やかな指導を実施した。少人数指導により、一人一人の児童・生徒に対して教員が丁寧に説明でき、児童・生徒の理解が深まったり、理解に時間のかかる児童・生徒が習熟度別指導によって意欲的に取り組んだりするなど、具体的な児童・生徒の姿として、その成果が表れていた。	引き続き、全小・中学校において、児童・生徒への個に応じたきめ細やかな指導を通して、学習意欲の向上や学力の向上を図るための少人数指導、習熟度別指導、チーム・ティーチング等による指導を実施していく。	教育指導課	
79	85	情報活用能力の育成	コンピュータや図書館を利用した学習を通して、児童・生徒の情報活用能力を育成し、情報モラル及び情報リテラシーについての指導を推進する。	実施中	継続	B	PC室や持ち出し用タブレット端末の活用及び、各学校の学校図書館活用計画に基づいた図書館利用の促進により、情報モラル及び情報リテラシーの指導を充実させることができた。また、各学校においてSNS東京ノート等を活用し情報モラルを含む情報活用能力の育成を図った。	一人1台端末の活用及び、各学校の学校図書館活用計画に基づいた図書館利用の促進により、情報モラル及び情報リテラシーの指導を充実させることができた。また、各学校においてSNS東京ノート等を活用し情報モラルを含む情報活用能力の育成を図った。	学校図書館を利用した学習については、これまで通り1台端末の活用により、情報モラル及び情報リテラシーについての指導を一層推進する。	教育指導課	
80	85	学校司書の配置と活用の推進	市内全小・中学校に専任の学校司書を1名ずつ週4日配置し、学校及び家庭における読書活動を推進することにより、児童・生徒に豊かな感性や情緒を身に付けさせるとともに言語力の育成を図る機会を提供する。	1人当たり貸出冊数36冊/年	1人当たり貸出冊数40冊/年	B	1人当たり32.24冊/年	1人当たり35.57冊/年	学校図書館活用推進協議会・学校司書連絡会において、授業や行事等での連携を推進し、図書資料の活用を図る。また、学校司書マニュアルの改訂に当たり、学校司書と学級担任との連携に関する指針を示し、各学校における学校図書館活用計画の更新に生かしていく。	教育指導課	
81	86,90	地域未来塾	家庭での学習が困難であるなど、学習習慣が十分に身に付いていない児童・生徒を対象に、市内全小・中学校で地域住民等の協力により学習支援を実施する。	令和元年5月から順次実施(8か所)	14か所(市内全校)	B	市内小中全校で実施。	市内小中全校で実施。	市内小中全校で実施予定。	文化振興課	
82	86	帰国子女等指導事業	外国から帰国又は来住した児童・生徒が、日本の社会生活に適応できるよう、小学校に設置された日本語学級に帰国子女指導員を配置し、日本語の指導及び生活指導を実施する。	実施中	継続	B	指導員2名 対象児童・生徒数21名 指導実績198日1,170時間	指導員3名 対象児童・生徒数25名 指導実績307日1160.5時間	外国から帰国又は来住した児童・生徒が、日本の社会生活に適応できるよう、小学校に設置された日本語学級に帰国子女指導員を配置し、日本語の指導及び生活指導を実施する。	教育指導課	
83	86	外国青年英語教育推進事業	英語科の授業及び特別活動での英語教育を推進するため、各中学校に補助教員として外国青年を配置し、英語教育の充実を図る。また、小学校における国際理解教育を推進するため各小学校に派遣を行う。	実施中	継続	B	外国語指導助手(ALT) 5名 出身国 アメリカ2名、カナダ1名、イギリス1名、南アフリカ1名	外国語指導助手(ALT) 5名 (令和6年3月31日現在) 出身国 アメリカ3名、イギリス2名	英語科の授業及び特別活動での英語教育を推進するため、各中学校に補助教員として外国青年を配置し、英語教育の充実を図る。また、小学校における国際理解教育を推進するため各小学校に派遣を行う。	教育指導課	



項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
84	86	武蔵村山市教育のつどい	児童・生徒のスポーツ、文化活動の活躍や善行を表彰するとともに、児童・生徒が自ら体験の中で考えたり、感じたりしたことを発表しあい、より良い生き方について学ぶ。また、教職員、保護者、地域の人たちが一体となって児童・生徒を育てる環境づくりについて考える機会として、教育のつどいを開催する。	実施中	継続	/	【令和2年度事業廃止】 児童・生徒や保護者等が集って実施する「武蔵村山市教育のつどい」は令和2年度で終了するが、引き続き、各学校において全校集会等で表彰等を行う。				教育指導課
85	86,88	人権・道徳教育の推進	児童・生徒が自己・他者の人権について正しく理解し、その大切さが認められるよう人権教育を推進するとともに、人間としての生き方や道徳的価値について自覚を深められるよう道徳的実践力を育成する。	実施中	継続	B	各学校における道徳の時間を要とした道徳教育を充実していくため、平成24年度から平成31年度まで、各学校の道徳教育推進教師を対象とした「道徳教育推進委員会」を年3回設定し、道徳教育推進教師の資質向上に係る研修や、具体的な取組についての情報交換を行ってきた。また、平成25年度から平成31年度まで、道徳教育推進委員会において授業実践を通じた研究協議を行い、道徳の時間の在り方についても、小中連携で進めている。 小学校では平成30年度から、中学校では令和元年度から「特別の教科 道徳」として教科化され、授業を要とする道徳教育を各校で推進する中で、道徳教育推進委員会で各校の情報共有及び連携を進め、道徳教育推進教師のスキルアップを図ってきた。道徳の教科化により、令和2年度で推進委員会は中止とした。令和4年度はこれまでの取り組みを活かして道徳授業を推進した。	これまでの取り組みを活かして道徳授業を推進した。	「特別の教科 道徳」について、年間指導計画を作成し、市内全小・中学校で実施する。道徳授業地区公開講座については、道徳教育推進校の取組を広く公開するとともに、全校において家庭、地域との連携を推進していく。	教育指導課	
86	86	伝統・文化教育の推進	郷土の特色を教材化した授業づくりを推進し、地域の歴史や風土について学ぶ機会の充実を図るとともに、伝統や文化を継承しようとする態度を育む教育を推進する。	実施中	継続	B	小学校において村山大島紬作り体験や茶摘み体験を実施する等、郷土の特色を教材化した授業づくりを推進し、伝統や文化を継承しようとする態度を育んできた。	小学校において村山大島紬作り体験や茶摘み体験を実施する等、郷土の特色を教材化した授業づくりを推進し、伝統や文化を継承しようとする態度を育んできた。	郷土の特色を教材化した授業づくりを推進し、地域の歴史や風土について学ぶ機会の充実を図るとともに、伝統や文化を継承しようとする態度を育む教育を推進する。	教育指導課	
87	86	野山北公園内水稲栽培	自然体験・勤労体験学習及び児童の健全育成の一環として、小学校5年生を対象に野山北公園内学習田で水稲栽培を実施する。	実施中	継続	B	小学校5年生全児童を対象に、自然体験・勤労体験学習及び児童の健全育成の一環として、一年間を通して田植えや草取り、脱穀を実施し、水田を活用した自然体験・勤労体験・児童の健全育成を水田学習により実施した。	小学校5年生全児童を対象に、自然体験・勤労体験学習及び児童の健全育成の一環として、一年間を通して田植えや草取り、脱穀を実施し、水田を活用した自然体験・勤労体験・児童の健全育成を水田学習により実施した。	自然体験・勤労体験学習及び児童の健全育成の一環として、小学校5年生を対象に野山北公園内学習田で水稲栽培を実施する。	教育指導課	
88	86,90	学校週5日制対応事業	学校週5日制を有効活用するために、子どもたちに体験活動や学習活動の場を提供する。	実施中	継続	B	狭山体験教室 実施回数：7回 参加者数：児童生徒120人 チャレンジ教室 実施回数：全70回 参加者数：児童生徒435人	狭山体験・ものづくり教室 実施回数：7回 参加者数：児童生徒154人 チャレンジ教室 実施回数：全65回 参加者数：児童生徒482人	学校週5日制の実施に伴い、子供たちが土曜日を有効に活用するための事業として「狭山体験・ものづくり教室」及び「チャレンジ教室」を実施予定。	文化振興課	
89	86	部活動補助事業	心身共に発育成長期の生徒の人格形成に大きな影響を及ぼす部活動の円滑な運営を図るため、必要な助成を行う。	実施中	継続	B	部活動補助金 交付基準額 2,800円×部活加入者数  第一中学校 1,458,800円 村山学園第二中学校 499,239円 第三中学校 910,000円 大南学園第四中学校 907,200円 第五中学校 1,362,780円	部活動補助金 交付基準額 2,800円×部活加入者数  第一中学校 1,467,200円 村山学園第二中学校 416,347円 第三中学校 831,512円 大南学園第四中学校 762,546円 第五中学校 1,229,200円	心身ともに発育成長期の生徒の人格形成に大きな影響を及ぼす部活動の円滑な運営を図るため、必要な助成を行う。	教育指導課	

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
90	86	部活動支援事業	市内全中学校1校につき1団体に指導員を配置し、技能面や戦術面の支援を行い、部活動の活性化及び強化を図る。	実施中	継続	B	部活動指導員配置実績 第一中学校 432,960円 村山学園第二中学校 416,240円 第三中学校 607,200円 大南学園第四中学校 570,240円 第五中学校 348,480円	部活動指導員配置実績 第一中学校 366,960円 村山学園第二中学校 549,120円 第三中学校 549,120円 大南学園第四中学校 549,120円 第五中学校 360,800円		心身ともに発育成長期の生徒の人格形成に大きな影響を及ぼす部活動の円滑な運営を図るため、必要な助成を行う。	教育指導課
91	86	市立中学校総合体育大会	生徒の体力向上及び豊かな人間形成を図るため、市内全中学校の総合体育大会を実施する。	実施中	継続	B	生徒の体力向上及び豊かな人間形成を図るため、中学校総合体育大会を開催した。	生徒の体力向上及び豊かな人間形成を図るため、中学校総合体育大会を開催した。		生徒の体力向上及び豊かな人間形成を図るため、市内全中学校の総合体育大会を実施する。	教育指導課
92	87	各種研修会	教員の資質向上と、より教育水準を高めることを目的として、各種研修会を実施する。	実施中	継続	B	教育相談研修会講師謝礼等 決算額 20,000円	教育相談研修会等の実施		教員の資質向上と、より教育水準を高めることを目的として、各種研修会を実施する。	教育指導課
93	87	小中学校教育研究会奨励事業	市内全小・中学校の教育振興と教員の資質向上を目的として、全教員で組織された研究会が行う研究活動に対して、奨励費を交付する。	実施中	継続	B	小学校教育研究会 808,038円 中学校教育研究会 247,000円	小学校教育研究会 924,937円 中学校教育研究会 235,271円		市内全小・中学校の教育振興と教員の資質向上を目的として、全教員で組織された研究会が行う研究活動に対して、奨励費（補助金）を交付する。	教育指導課
94	87	市立学校校内研究奨励事業	市内全小・中学校における研究課題に基づいた校内研究活動に対し、助成を行う。また、特色ある教育及び学校づくりを推進するため、奨励費を交付する。	実施中	継続	B	校内研究活動経費に対する助成 小学校9校 781,761円 中学校5校 410,606円 特色ある教育及び特色ある学校づくりの推進に対する奨励費 第二小学校 374,999円 第三小学校 373,592円 第七小学校 374,912円 第四中学校 375,000円 教育課題研究に要する経費の補助 第七小学校 149,839円 第五中学校 150,000円	校内研究活動経費に対する助成 小学校9校 843,338円 中学校5校 484,922円 特色ある教育及び特色ある学校づくりの推進に対する奨励費 第七小学校 364,916円 第八小学校 375,000円 第九小学校 374,980円 第四中学校 374,940円 「まちづくり学習」の推進に要する経費の補助 小学校（9校） 1,015,053円 中学校（5校） 748,144円		市内全小・中学校における研究課題に基づいた校内研究活動に対し、助成を行う。また、特色ある教育及び学校づくりを推進するため、奨励費を交付する。	教育指導課
95	87,89	幼稚園・保育所等と小学校との連携	幼稚園・保育所等と小学校との間で、円滑な接続と連携を図る取組を行う。	実施中	継続	B	小学校への入学にあたり、保育園・幼稚園からの引継ぎとして、指導要録のほか就学支援シート等を活用して、入学児童に対する理解の共有を図った。特に、特別な支援を要する児童については、十分な共通理解が図れるように、丁寧な引継ぎを行っている。また、小1プロブレムを軽減する目的で、就学予定園児の小学校行事への参加や授業見学、小学生との交流活動などを実施した。小学校から中学校への進学時についても、配慮が必要な児童についての情報共有を図った。	小学校への入学にあたり、保育園・幼稚園からの引継ぎとして、指導要録のほか就学支援シート等を活用して、入学児童に対する理解の共有を図った。特に、特別な支援を要する児童については、十分な共通理解が図れるように、丁寧な引継ぎを行っている。また、小1プロブレムを軽減する目的で、就学予定園児の小学校行事への参加や授業見学、小学生との交流活動などを実施した。小学校から中学校への進学時についても、配慮が必要な児童についての情報共有を図った。		幼稚園・保育所等と小学校との間で、円滑な接続と連携を図る取組を行う。	教育指導課
96	87	小学校補助教員派遣事業	市内全小学校に補助教員を配置し、児童一人一人に目の行き届いた教育の実現を図る。	実施中	継続	B	全小学校に補助教員を各校1名配置し、児童一人一人に対するきめ細やかな指導の実現に資するとともに、地域で学校を支える体制づくりを推進した。	全小学校に補助教員を各校1名配置し、児童一人一人に対するきめ細やかな指導の実現に資するとともに、地域で学校を支える体制づくりを推進した。		小学校の補助教員を配置し、児童一人一人に目の行き届いた教育の実現を図る。	教育指導課

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
97	87	一斉学校公開の実施	各学校の経営方針や教育活動などの情報を発信するほか、市内全小・中学校で一斉学校公開を実施し、保護者や地域と共に良い学校づくりを推進する。	実施中	継続	B	市内全小・中学校で一斉学校公開を実施した。	市内全小・中学校で一斉学校公開を実施した。		各学校の経営方針や教育活動などの情報を発信するほか、市内全小・中学校で一斉学校公開を実施し、保護者や地域と共に良い学校づくりを推進する。	教育指導課
98	87	コミュニティ・スクールの活用	保護者や地域の意見を学校運営に反映し、地域に開かれ、信頼される学校づくりを推進する。	実施中	継続	B	全校がコミュニティ・スクールに指定されたことで、各校がより特色のある教育活動を実施した。定期的に開催される学校運営協議会において、地域と学校との積極的な情報交換が行われており、学校運営協議会主催の行事等も発案・企画されるなど、地域とともに教育活動が展開されている。また、学校評価に委員の意見を反映させることで、次年度への取組に向けての改善を図ることができている。	全校がコミュニティ・スクールに指定されたことで、各校がより特色のある教育活動を実施した。定期的に開催される学校運営協議会において、地域と学校との積極的な情報交換が行われており、学校運営協議会主催の行事等も発案・企画されるなど、地域とともに教育活動が展開されている。また、学校評価に委員の意見を反映させることで、次年度への取組に向けての改善を図ることができている。		保護者や地域の意見を学校運営に反映し、地域に開かれ、信頼される学校づくりを推進する。また、学校運営協議会の発案による、新たな教育施策の推進も図る。	教育総務課 教育指導課
99	88,95	教育相談室	相談内容に応じた専門家による教育相談、就学相談、スクールソーシャルワーカーの派遣等の相談事業を実施する。	実施中	継続	B	相談日数 244日 来室相談件数 299件 来室相談人数 延べ697人 うち児童・生徒 437人 うち保護者等 260人 訪問相談件数 0件 電話相談件数 3件	相談日数 198日 来室相談件数 299件 来室相談人数 延べ621人 うち児童・生徒 381人 うち保護者等 240人 訪問相談件数 0件 電話相談件数 4件		相談内容に応じた専門家による教育相談、就学相談、スクールソーシャルワーカーの派遣等の相談事業を実施する。	教育指導課
100	88	適応指導教室	学校に行けない児童・生徒に対して、学習指導等を行い、学校生活への復帰を支援する。	実施中	継続	B	指導補助員ボランティア 9人 対象児童・生徒 小学生 5人、中学生14人 学校への復帰 小学生 0人、中学生2人	指導補助員ボランティア 9人 対象児童・生徒 小学生 0人、中学生19人 学校への復帰 小学生 0人、中学生15人		学校に通えない児童・生徒に対して、学習指導等を行い、児童・生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す。	教育指導課
101	88	スクールカウンセラーの配置	不登校やいじめ、暴力等の問題を未然に防止するとともに、学校生活や友人関係などに関する心理的相談を通して、学校への適応を図るため、スクールカウンセラーを配置する。	各校1人	各校1人	B	相談件数 児童・生徒 2,023人 保護者 682人 教員 3,611人 その他(祖父母、近隣住民等) 221人 配置体制 月曜日：なし 火曜日：一小、二小、三小、大南学園七小、雷塚小、一中、三中、大南学園四中、五中 水曜日：村山学園四小 木曜日：村山学園二中、五中 金曜日：八小、九小、十小	相談件数 児童・生徒 1,699人 保護者 794人 教員 2,888人 その他(祖父母、近隣住民等) 149人 配置体制 月曜日：八小、 火曜日：一小、二小、三小、九小、雷塚小、一中、三中、五中 水曜日：村山学園四小 木曜日：大南学園七小、村山学園二 中、大南学園四中、五中 金曜日：十小		不登校やいじめ、暴力等の問題を未然に防止するとともに、学校生活や友人関係などに関する心理的相談を通して、学校への適応を図るため、スクールカウンセラーを配置する。	教育指導課

### 3-2 幼児教育の充実

102	89,96	幼児対象子育て支援事業	幼稚園の園庭を定期的に開放し、幼児に集団で遊ぶ機会を与え、保護者同士の交流を図る。	実施中	継続	B	園庭開放の実施 幼稚園4園実施 東京多摩幼稚園 月1回木曜日 午前10時30分から正午まで 武蔵みどり幼稚園 毎週月曜日 午前10時30分から正午まで むらやま幼稚園 第2・第4火曜日(不定期) 午前10時から正午まで 村山いずみ幼稚園 月2回月曜日・水曜日 午前10時30分から正午まで	園庭開放の実施 幼稚園4園実施 東京多摩幼稚園 月1回木曜日 午前10時30分から正午まで 武蔵みどり幼稚園 毎週月曜日 午前10時30分から正午まで むらやま幼稚園 第2・第4火曜日(不定期) 午前10時から正午まで 村山いずみ幼稚園 月2回月曜日・水曜日 午前10時30分から正午まで		幼稚園の園庭を定期的に開放し、幼児に集団で遊ぶ機会を与え、保護者同士の交流を図る。	子ども育成課
103	89	おはなしの会	乳幼児から小学生まで及びその保護者を対象に、絵本や紙芝居の読み聞かせ、パネルシアター、手遊びなどを実施する。	開催数 114回/年	開催数 120回/年	B	感染症対策を図りながら開催した。6会場の合計で99回の開催、延べ参加者合計は478人である。	感染症対策を図りながら開催した。6会場の合計で101回の開催、延べ参加者合計は615人である。		引き続き感染症対策を講じながら、今後も市報及びホームページ等で周知を行い、参加者の増加を図る。	図書館

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
<b>3-3 家庭や地域の教育力の向上</b>											
104	90	家庭教育講座	家庭は子どもの人間関係の基礎を培う重要な場であることから、保護者と子どもの基本的な学びの場として、講演会や実習会等を開催し、家庭教育への支援を行う。	受講率 36.7%	受講率 100%	B	家庭教育講座を3講座実施。 狭山丘陵の自然観察講座 全2回 延べ19人参加 けん玉検定にチャレンジ講座 全2回 延べ9人参加 視覚障がい者の暮らしと点字、視覚障がい者を理解するためのヒント 全2回 延べ15人参加	家庭教育講座を3講座実施。 「効率よく楽に清潔を保つお掃除術」を題材に講座を開催 全1回 延べ16人参加 「発酵食品で腸もはつらつ」と題して講座を開催 全1回 延べ14人参加 「体験・体感してみよう！ユニバーサルデザイン」と題して講座を開催 全2回 延べ26人参加		家庭教育講座を実施予定。	文化振興課
105	90	「家庭の日」普及の広報・啓発	青少年の健全育成について、家庭が最も大切な役割を持つという認識から、家庭がその機能を十分に発揮できるためのきっかけづくりとして、毎月第一日曜日を「家庭の日」として位置付け、普及について広報・啓発する。	実施中	継続	B	「家庭の日」に関する記事を市報(11月1日号)に掲載するとともに、11月の1か月間市民会館壁面に懸垂幕を掲出した。また、子供・若者育成支援強調月間(11月の1か月間)に合わせて、市役所等に「家庭の日」に関するチラシ及び啓発物品を備え付け、PR活動を実施した。	「家庭の日」に関する記事を市報(11月1日号)に掲載するとともに、11月の1か月間市民会館壁面に懸垂幕を掲出した。また、子供・若者育成支援強調月間(11月の1か月間)に合わせて、市役所等に「家庭の日」に関するチラシ及び啓発物品を備え付け、PR活動を実施した。	「家庭の日」に関する記事を市報(11月1日号)に掲載するとともに、子供・若者育成支援強調月間の広報に合わせ、青少年補導連絡委員会による街頭広報活動を実施し、月間及び「家庭の日」を周知する。		子ども育成課
106	90	世代間交流の促進	子どもと高齢者等との交流を通して、世代間交流を促進する。	実施中	継続	B	コロナ禍により、ほとんどの自治会では夏祭り等のイベントを中止。(協働推進課) 暫定管理地で市内小中学校とシルバー人材センターの職員とでひまわりの種まき行っていたが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。(産業観光課) 各自治会の夏祭り等において、自治会員と子ども達が交流を図った。また、土曜日チャレンジ教室、放課後子ども教室などにおいて世代間交流を行った。 ※生涯学習フェスティバル、村山デエダラまつりは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止(教育指導課) 《少年・古希軟式野球チーム親善試合》 開催日：令和4年9月11日(日) 開催場所：総合運動公園運動場(第3) 参加者：43人 (スポーツ振興課) 《少年・古希軟式野球チーム親善試合》 開催日：令和5年9月10日(日) 開催場所：総合運動公園運動場(第3)ほか 参加者 ・野球教室 153人 ・親善試合 39人 ・講演会 189人 (スポーツ振興課) 土曜日チャレンジ教室、放課後子ども教室などにおいて世代間交流を行った。(文化振興課)	コロナにより中止していた自治会のイベントが徐々に再開された。一部の自治会において、夏祭り等のイベントを通じて世代間交流が図られた。(協働推進課) 令和5年5月末をもって暫定管理地を東京都へ返還するため、今後は実施しない。(産業観光課) 各自治会の夏祭り等において、自治会員と子ども達が交流を図った。また、土曜日チャレンジ教室、放課後子ども教室などにおいて世代間交流を行った。(教育指導課) 《少年・古希軟式野球チーム親善試合》 開催日：令和5年9月10日(日) 開催場所：総合運動公園運動場(第3)ほか 参加者 ・野球教室 153人 ・親善試合 39人 ・講演会 189人 (スポーツ振興課) 土曜日チャレンジ教室、放課後子ども教室などにおいて世代間交流を行った。(文化振興課)	令和6年度においても、可能な範囲で自治会において夏祭り等のイベントを開催する。(協働推進課) 子どもと高齢者等との交流を通して、世代間交流を促進する。(教育指導課) 子どもと高齢者が参加するイベントの開催により、世代間交流を促進する。(スポーツ振興課) 土曜日チャレンジ教室、放課後子ども教室などにおいて世代間交流を行う。(文化振興課)		関係各課
107	90	地域みんなでまちづくり会議	誰もが気軽に参加し、かつ気軽に話せる場として、様々な世代間と地域のつながりをつくるとともに、市の若手職員も地域課題の共有及びその解決策を考えていく場として、地域みんなでまちづくり会議を開催する。	実施中	継続	/	【令和3年度事業廃止】 令和3年11月22日付で意見のあった行政評価の評価結果に対する意見を受け、令和3年度で地域みんなでまちづくり会議を廃止。				協働推進課
108	91	総合型地域スポーツクラブ(よってかっしえクラブ)の運営支援	地域住民が世代を超えてスポーツ活動や文化活動を通じた交流が行えるよう、地域が主体となる運営を支援する。	会員数 290人	会員数 380人	C	会員数171人	会員数172人	市報・市ホームページ、教育むさしむらやま等でクラブのPRを行っているが、会員数の増に至っていない。今後新たな手法等について検討する必要がある。	市民が世代を超えてスポーツ活動や文化活動を通じた交流が行われるよう、地域が主体となる運営を支援する。	スポーツ振興課
109	91	図書館資料の充実	図書館資料の充実を図り、子どもに読書の面白さ楽しさを知ってもらうとともに、知的好奇心の高揚につながる資料等の展示や紹介に努める。	実施中	継続	B	図書を7,617冊、CDを117タイトル購入した。電子書籍については、年度末現在11,857タイトルである。	図書を7,086冊、CDを108タイトル購入した。電子書籍については、年度末現在13,127タイトルである。		図書等資料の充実を図る。	図書館

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
<b>基本目標4 子育てを支援する安全・安心な生活環境の整備</b> <b>4-1 バリアフリーのまちづくり</b>											
110	92	道路環境の充実	道路の新設・改良において、通行者の安全を図るため、歩道の切下げや段差の適切な解消について、東京都福祉のまちづくり条例等を遵守し、安全で快適な歩道の整備を進める。	実施中	3路線	B	<p>①主要市道第12号線の拡幅整備事業を継続して実施した。竣工後の同線は、歩道付きの広幅員道路となる。</p> <p>②東京都の補助を活用して伊奈平地区を通る主要市道第4号線の東側半分（都道59号線・多摩大橋通りから同162号線・残堀街道まで）の舗装を改修した。</p> <p>③令和3年度に発生した交通死亡事故に対応するため、中原二丁目26番地先の主要市道第32号線と一般市道D第195号線及び同207号線との交差点を改修した。</p> <p>④市長への手紙等による要望により「歩行者注意」、「速度落せ」及び「事故多し」の路面標示を施工した。</p> <p>⑤既設道路整備事業の実施により、損傷した道路を重要性や劣化度合いによって順位をつけて改修した。</p>	<p>①主要市道第12号線の拡幅整備事業を継続して実施した。竣工後の同線は、歩道付きの広幅員道路となる。</p> <p>②主要市道第1号線の舗装を改修した。</p> <p>③市長への手紙等による要望により「事故多し」等の注意喚起する路面標示を施工した。</p> <p>④既設道路整備事業の実施により、損傷した道路を重要性や劣化度合いによって順位をつけて改修した。</p>	<p>①用地の取得及び部分的な下水道の整備。</p> <p>②住民要望等に基づき、危険な箇所や劣化した路線を整備する。</p>	道路下水道課	
111	92	公共的建築物のバリアフリー化・ユニバーサルデザインの推進	段差のない安全で快適な出入口や歩行空間の確保等に配慮するほか、誰もが使いやすい公共的建築物の整備の充実を図る。	実施中	継続	B	<p>新たに段差等が発生しなかったため引き続き所管施設の維持管理を行った。（総務契約課）</p> <p>ふれあいセンター等バリアフリー化済み（協働推進課）</p> <p>温泉施設については、既にスロープ、障害者用トイレが完備されており、バリアフリー化されているため、実績なし。（産業観光課）</p> <p>市民総合センターにおいては、すでに建物のバリアフリー化等が完了している。</p> <p>市民総合センター1階にある誰でもトイレにオストメイトを1台設置した。</p> <p>市民総合センター内の各階の男子トイレにサンタリーボックスを設置した（計6個）。（障害福祉課）</p> <p>新たな段差等が発生しないよう所管施設の維持管理を行った。（健康推進課）</p>	<p>新たに段差等が発生しなかったため引き続き所管施設の維持管理を行った。</p> <p>また1階南側情報コーナーカウンター前にベビーカーを配備し子育て世帯へ負担軽減の配慮を行った。（総務契約課）</p> <p>ふれあいセンター等バリアフリー化済み（協働推進課）</p> <p>温泉施設についてはバリアフリー化が実施済みであるが、令和5年4月から一時閉館している。（産業観光課）</p> <p>市民総合センターにおいては、すでに建物のバリアフリー化等が完了しているが、今後も、必要に応じて施設整備を継続していく。（障害福祉課）</p> <p>新たな段差等が発生しないよう所管施設の維持管理を行った。（健康推進課）</p> <p>各児童館については段差のない安全で快適な出入口として整備されている。（子ども育成課児童館）</p>	<p>段差等が発生しないよう引き続き見回り等視視し所管施設の維持管理を図る。（総務契約課）</p> <p>バリアフリー化済みであることから、特に予定なし。（協働推進課）</p> <p>特になし（産業観光課）</p> <p>現時点において、実施予定なし（障害福祉課）</p> <p>段差のない安全で快適な出入口や歩行空間の確保等に配慮するほか、誰もが使いやすい公共的建築物の整備の充実を図る。（健康推進課）</p> <p>施設に故障箇所がないように点検をし、維持管理に努める。（子ども育成課児童館）</p>	関係各課	
112	92	バス交通等の利用環境の充実	市民の日常生活における利便性の向上を図るため、市内循環バス及び乗合タクシーの充実を図る。	実施中	継続	B	<p>市内循環バス運行経費補助金 94,701,830円</p> <p>市内循環バスロケーションシステム運営費補助金766,524円</p> <p>市内循環バス車両購入経費補助金 15,503,290円</p> <p>乗合タクシー運行業務委託料 17,820,000円</p> <p>市内循環バス 延べ190,751名</p> <p>乗合タクシー 延べ11,156名</p>	<p>市内循環バス運行経費補助金 101,530,002円</p> <p>市内循環バスロケーションシステム運営費補助金 354,024円</p> <p>市内循環バス車両購入経費補助金 10,101,394円</p> <p>乗合タクシー運行業務委託料 17,820,000円</p> <p>市内循環バス 延べ 196,781人</p> <p>乗合タクシー 延べ 12,657人</p>	<p>引き続き市民生活の利便性の確保及び向上を図るため市内循環バス「MMシャトル」の運行経費等に対し補助を行うとともに、乗り合いタクシー「むらたく」の利用促進を図る。</p>	交通企画・モノレール推進課	
113	92	賃貸住宅の供給促進	市民の多様な住宅需要に対応するため、公的住宅の整備を東京都、東京都住宅供給公社、都市再生機構などの住宅供給主体に要請する。また、都営住宅のパンフレット等の配布及び地元割当ての募集事務を行う。	実施中	継続	B	<p>都営住宅地元割当募集（13戸）を実施。東京都に対して地元割当募集の要望を行った。都営住宅及び都民住宅入居者募集パンフレット配布状況</p> <p>都営住宅 1,185部</p> <p>都民住宅 54部</p>	<p>例年、都営住宅地元割当募集を実施しているが、令和5年度は割当が無かったため、未実施。東京都に対しては、地元割当募集の要望を行った。都営住宅及び都民住宅入居者募集パンフレット配布状況</p> <p>都営住宅 1,062部</p> <p>都民住宅 35部</p>	<p>東京都に対して都営住宅地元割当募集の要望を行い、割当があれば募集を実施するほか、都営住宅のパンフレット等の配布及び募集事務を行う。</p>	都市計画課	

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
<b>4-2 安全・安心なまちづくり</b>											
114	93	道路・公園などの都市基盤整備	道路・公園等の都市基盤整備を図り、安心・安全のまちづくりを推進する。	実施中	継続	B	令和4年5月31日に野山北六道山公園の一部区域が追加開園された。	令和5年1月31日及び令和5年5月31日に野山北六道山公園の一部区域が追加開園された。 (都市計画課) 道路反射鏡を9基、防犯灯は19灯を新設し、安心・安全な道路となるよう努めた。(道路下水道課)		都市計画公園の早期整備を図り、市民等のレクリエーションの場を創出する。 (都市計画課) 住民要望等に基づき、危険な場所に道路反射鏡や防犯灯等を設置する。(道路下水道課)	都市計画課 道路下水道課
115	93	キッズ・ゾーンの設定の推進	保育所等が行う散歩等の園外活動等の安全を確保するため、キッズ・ゾーンの設定等具体的な交通安全対策を検討する。	未実施	検討	B	未実施(障害福祉課) 防災安全課においてキッズゾーンの設定は無かった。(防災安全課)	関係機関・部署と検討を行ったが、キッズ・ゾーンの設定について具体的な取組には至っていない。		引き続き、関係機関・部署とキッズ・ゾーンの設定について検討していく。	子ども育成課 障害福祉課 防災安全課 道路下水道課
116	93	児童・生徒に対する交通安全教育の推進	認可保育所・幼稚園での道路横断教室、小学校での自転車安全運転教室を開催し、児童・生徒の交通安全意識の高揚を図る。また、中学校でのスケアード・ストレイト(実体験的教育)の実施も行う。	実施中	継続	B	交通安全教室の実施教 未就学児(幼稚園・保育園)11回 小学校 11回 中学校 2回 (中学生はスケアード・ストレイト)	交通安全教室の実施教 未就学児(幼稚園・保育園) 9回 小学校 11回 中学校 2回 (中学生はスケアード・ストレイト)		引き続き、保育所・幼稚園での歩行訓練、小学校での自転車安全運転教室、中学校でのスケアード・ストレイト(実体験的教育)を開催し、児童・生徒の交通安全意識の高揚を図っていく。	防災安全課
117	93	夏期交通防犯映画会の実施	夏期交通防犯映画会を開催し、交通安全意識の高揚を図る。	開催団体数 13団体	開催団体数 15団体	B	開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止とした。	令和2年度から令和4年度までにかけては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていたが、令和5年度については、4年ぶりに開催し、10団体が夏期交通防犯映画会を実施した。		引き続き、夏期交通防犯映画会を開催し、交通安全意識の高揚を図っていく。	防災安全課
118	93	学童交通擁護員の配置	小学校の通学時に学童交通擁護員を配置し、児童の交通安全の確保と交通安全指導の推進を図る。	実施中	継続	B	学童交通擁護員を配置し、児童の登下校時の交通安全の確保を図った。 学童交通擁護員の配置 13人	学童交通擁護員を配置し、児童の登下校時の交通安全の確保を図った。 学童交通擁護員の配置 13人		小学校の通学時に学童交通擁護員を配置し、児童の交通安全の確保と交通安全指導の推進を図る。	教育総務課
119	93	通学路合同点検の実施	スクールガード・リーダー、東大和警察署、武蔵村山市(防災安全課及び道路下水道課)、武蔵村山市教育委員会、学校教職員及びPTA等の関係機関が、児童の安全のため合同で通学路の点検を実施する。	9校	9校	B	交通安全告知媒体の設置 (1) 交通啓発看板 12箇所 (2) 路面標示ステッカー 2箇所 (3) 横断旗設置 2箇所 (防災安全課)  スクールガード・リーダー、東大和警察署、武蔵村山市(防災安全課及び道路下水道課)、武蔵村山市教育委員会、学校教職員及びPTA等の関係機関が、児童の安全のため合同で通学路の点検を実施した。(教育総務課)  ①第三小学校の通学路では、中藤地区学習等供用施設駐車場前の交差点に赤色カラー舗装を施工した。 ②第八小学校の通学路では、三ツ藤三丁目50番地先の一般市道D第215号線に設置していた「スクールゾーン」の路面標示が薄れていたため塗り直した。 ③第九小学校の通学路では、同項西側を通る主要市道第62号線の横断歩道や外側線を引き直したほか、通過車両の速度を抑制するため物理的・視覚的狭さを設置した。(道路下水道課)	交通安全告知媒体の設置 (1) 交通啓発看板 12箇所 (2) 路面標示ステッカー 2箇所 (3) 横断旗設置 2箇所 (防災安全課)  9校実施(教育総務課)  ①第九小学校の通学路(一般市道B第8号線)に減速マークを設置し、外側線を塗り直した。 ②第十小学校の通学路で信号のない交差点にカラー舗装し、スクールゾーンの緑塗装を塗り直した。主要市道第1号線の舗装を改修した。 ③市長への手紙等による要望により「事故多し」等の注意喚起する路面標示を施工した。 ④既設道路整備事業の実施により、損傷した道路を重要性や劣化度合いによって順位をつけて改修した。(道路下水道課)	要望に応じて、交通啓発看板・路面標示ステッカー等交通安全告知媒体を設置していく。 (防災安全課)  児童の通学の安全を図るため、小学校が抽出した危険箇所について、学校、PTA、東大和警察署、市の関係機関等と連携確認をするなどに対策案を検討する。(教育総務課)  注意喚起する路面標示が薄れた場所の塗り直しや、交差点に薄層カラー(キラキラ)舗装を施工する。道路反射鏡の角度調整など交通安全対策の向上を図る。 (道路下水道課)	教育総務課 防災安全課 道路下水道課	

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
120	94	液体ミルク普及啓発事業	災害時において、すぐに飲むことのできる液体ミルクを購入し、新生児及び乳幼児を持つ家庭へ普及啓発する。	実施中	継続	B	液体ミルクの購入・配布 購入回数 2回 (8月、3月) 購入量 552個 ※192個+360個 配布量 391個 ※子ども子育て支援課の事業(乳児健診等)で配布	液体ミルクの購入・配布 購入回数 3回 (9月、1月、3月) 購入量 552個 ※192個+192個+168個 配布量 330個 ※子ども子育て支援課の事業(乳児健診等)で配布	引き続き、災害時の備蓄及び普及啓発を目的として、液体ミルクの購入・配布を行う。		防災安全課
121	94	学校安全計画の作成及び安全指導の充実	各学校において、安全指導計画を作成するとともに、月1回実施する安全指導日等を通して、災害安全等について計画的に指導し、児童・生徒が自分の身を守れるようにする。	実施中	継続	B	各学校において、計画通り安全指導を実施した。	各学校において、計画通り安全指導を実施した。		各学校において、安全指導計画を作成するとともに、月1回実施する安全指導日等を通して、災害安全等について計画的に指導し、児童・生徒が自分の身を守れるようにする。	教育指導課
122	94	避難訓練の実施	各学校において、様々な想定に基づいた避難訓練を月1回実施し、児童・生徒が避難経路や避難方法を確実に学べるようにするとともに、自己・他者の安全を守ろうとする態度を育む。	実施中	継続	B	各学校において、計画通り避難訓練を実施した。	各学校において、計画通り避難訓練を実施した。		各学校において、様々な想定に基づいた避難訓練を月1回実施し、児童・生徒が避難経路や避難方法を確実に学べるようにするとともに、自己・他者の安全を守ろうとする態度を育む。	教育指導課
123	94	保護者・地域との連携による安全確保体制の確立	災害発生時に、保護者・地域との連携により、児童・生徒の安全確保ができる体制を確立する。	実施中	継続	B	引き渡し訓練など保護者と連携した訓練を実施した。	引き渡し訓練など保護者と連携した訓練を実施した。		災害発生時に、保護者・地域との連携により、児童・生徒の安全確保ができる体制を確立する。	教育指導課
124	94	スクールガード・リーダーの設置	児童・生徒を犯罪から守るため、スクールガード・リーダーが学校・通学路等の巡回を行う。また、学校や児童・生徒、PTA及び地域の学校安全ボランティアへの指導、安全に関する学校の取組への助言等を行う。	2人	2人	C	スクールガード・リーダー 1人 謝礼54,000円	令和5年度については、後継のスクールガード・リーダーが見つからなかったため、代替案として警察官による学校の巡回指導を小学校全校(9校)で実施した。	後継のスクールガード・リーダーが見つからないため。	児童・生徒を犯罪から守るため、警察官の派遣を依頼し学校の巡回指導を行う。	教育総務課
125	94	安全・安心パトロール活動の推進	子どもの登下校時における安全を確保するため、公園の巡回などのパトロール活動を実施するほか、見守り番や武蔵村山市防犯協会等の地域のボランティア団体、関係機関と情報を共有した積極的な安全・安心パトロールを推進する。	実施中	継続	B	1 青色防犯パトロール巡回 (1) 活動人員 3名 (2) 実施日数 147日 2 見守り番 (1) 大南活動日数 166日 (2) 中原活動日数 155日 3 自主防犯組織 団体数 11団体	1 青色防犯パトロール巡回 (1) 活動人員 3名 (2) 実施日数 142日 2 見守り番 (1) 大南活動日数 140日 (2) 中原活動日数 132日 3 自主防犯組織 団体数 11団体	引き続き、子どもの登下校時における安全を確保するため、公園の巡回などのパトロール活動を実施するほか、見守り番や武蔵村山市防犯協会等の地域のボランティア団体、関係機関と情報を共有した積極的な安全・安心パトロールを推進していく。		防災安全課
126	94	子ども110番ハウス事業	児童・生徒の安全確保のため、昼間在宅していることが多い家庭、商店等を子ども110番ハウスとして登録し、登下校時等の緊急時における避難場所を確保する。	実施中	継続	B	児童・生徒の安全確保のため、PTAに110番ハウスのポスターを配布し、登下校時等の緊急時における避難場所を確保した。	児童・生徒の安全確保のため、昼間在宅していることが多い家庭、商店等を子ども110番ハウスとして登録し、登下校時等の緊急時における避難場所を確保した。		児童・生徒の安全確保のため、昼間在宅していることが多い家庭、商店等を子ども110番ハウスとして登録し、登下校時等の緊急時における避難場所を確保する。	教育総務課
127	94	防犯プレートの配布	児童・生徒への見守り、声掛け運動を推進するため、自転車に装着する防犯プレートを配布する。	実施中	継続	B	児童・生徒への見守り、声掛け運動を推進するため、自転車に装着する防犯プレートを配布した。	児童・生徒への見守り、声掛け運動を推進するため、自転車に装着する防犯プレートを配布した。		児童・生徒への見守り、声掛け運動を推進するため、自転車に装着する防犯プレートを配布する。	教育総務課

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
128	95	防犯ブザーの配布	児童・生徒を犯罪から守るため、小学校1年生を対象に防犯ブザーを配布する。	実施中	継続	B	対象者 令和5年度入学者 購入数 657個 購入金額 278,239円	対象者 令和5年度入学者 購入数 627個 購入金額 265,534円		児童・生徒を犯罪から守るため、小学校1年生を対象に防犯ブザーを配布する。	教育総務課
129	95	通学路防犯カメラの管理・運用	通学路防犯カメラを適切に管理・運用することにより、児童の見守り活動を補完するとともに、児童の安全確保の強化を図る。	実施中	継続	B	通学路防犯カメラの設置 新規2台 1,276,000円	通学路防犯カメラの設置 新規1台 941,600円		通学路防犯カメラを適切に管理・運用することにより、児童の見守り活動を補完するとともに、児童の安全確保の強化を図る。	教育総務課
130	95	情報提供サービス事業	安心、安全のための犯罪、災害情報等を電子メール(携帯電話、パソコン等)を利用して配信する。	実施中	継続	B	4年度末の登録者数 犯罪情報 3,631人 災害情報 3,788人 市政情報 2,599人  4年度末の情報配信件数 犯罪情報 15件 災害情報 42件 市政情報 122件	5年度末の登録者数 犯罪情報 3,832人 災害情報 3,992人 市政情報 2,767人  5年度末の情報配信件数 犯罪情報 10件 災害情報 33件 市政情報 107件		引き続き各種情報をメール配信していく。	秘書広報課
131	95	セーフティ教室	児童・生徒が、交通事故や不審者、パソコン・携帯電話などを利用した犯罪、薬物乱用など、様々な危険に巻き込まれないよう、学校・家庭・地域・関係機関が連携し、セーフティ教室を開催する。	実施中	継続	B	各学校で年に1回、東大和警察署等と連携したセーフティ教室を実施し、交通事故防止やSNSの利用に関連した危険やトラブルを未然に防止するための安全指導を行った。	各学校で年に1回、東大和警察署等と連携したセーフティ教室を実施し、交通事故防止やSNSの利用に関連した危険やトラブルを未然に防止するための安全指導を行った。		児童・生徒が、交通事故や不審者、パソコン・携帯電話などを利用した犯罪、薬物乱用など、様々な危険に巻き込まれないよう、学校・家庭・地域・関係機関が連携し、セーフティ教室を開催する。	教育指導課



項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
<b>4-3 子どもの居場所の確保</b>											
132	96	放課後児童健全育成事業（学童クラブ）	放課後帰宅しても保護者の労働、疾病等により、適切な監護が受けられない小学校児童を対象に、一定時間組織的に指導し、その危険防止と健全育成に努める。	13か所	13か所	B	学童クラブ 施設数 13か所 定員 710人 利用人数 延べ110,304人	学童クラブ 施設数 13か所 定員 710人 利用人数 延べ114,109人		児童数の減少傾向にもかかわらず、学童クラブを希望する児童が減少することなく、増加しているが、安全、安心で適切な育成支援が出来るように努めている。	子ども育成課 (児童館)
133	96	放課後子供教室の充実	小学校児童を対象に、安全・安心な子どもの居場所を設け、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を推進する。	7か所	9か所	B	市内全小学校で実施	市内全小学校で実施		市内全小学校で実施予定。	文化振興課
134	96	一体型の学童クラブ及び放課後子供教室の設置	学童クラブの児童と放課後子供教室の児童が、同じ活動場所で、同一の活動プログラムに参加できるよう、一体型の学童クラブ及び放課後子供教室の運営に努める。	4か所	5か所	B	設置 5か所 一体型ではないが、放課後子供教室で実施した活動に学童クラブの児童が参加することで実施。	設置 6か所（子ども育成課児童館） 一体型ではないが、放課後子供教室で実施した活動に学童クラブの児童が参加することで実施。 (文化振興課)		令和5年度と同様の内容で実施予定	文化振興課 子ども育成課 (児童館)
135	96	学童クラブと放課後子供教室の連携等	学童クラブ及び放課後子供教室の「一体的又は連携による実施」、「関係部局の連携」、「小学校の余裕教室等の活用」、「特別な配慮を必要とする児童への対応」に関する具体的な方策等について、放課後子供教室運営委員会等において意見交換を行うことにより、児童のより良い居場所づくりに努める。	実施中	継続	B	放課後子供教室運営委員会において、放課後子ども教室と学童クラブとの一体型運営について検討を行った。	放課後子供教室運営委員会 開催 3回（子ども育成課児童館） 放課後子供教室運営委員会では、放課後子ども教室と学童クラブとの一体型運営、連携についてアンケートなどの検討を行ったが実施には至らなかった。（文化振興課）		放課後子供教室運営委員会等において意見交換を行うことにより、児童のより良い居場所づくりに努める。 (子ども育成課児童館) 後子供教室運営委員会及び放課後子ども教室と学童クラブとの一体型運営について検討を行う。（文化振興課）	文化振興課 子ども育成課 (児童館)
136	96	児童館の充実	地域の子どもの遊び場、交流の場として、児童館事業の充実を図る。	実施中	継続	B	施設数 6館 対象者 18歳未満の児童 利用人数 延べ17,247人	施設数 6館 対象者 18歳未満の児童 利用人数 延べ25,438人		地域の子どもの安全で安心できる遊び場、交流の場として、各児童館が特色のある行事を企画、実施し事業の充実を図る。	子ども育成課 (児童館)
137	96	児童館合同事業	市内6館の児童館が合同して事業を行い、児童の交流を促進する。	実施中	継続	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から令和4年度にかけて事業中止	新型コロナウイルスの影響により令和2年度から令和4年度に中止になったことから、開催方法等の検討をし、市内各地からの一か所への来館は危険が伴うことから、各児童館で行事として、特色のあるお祭りやフェス等を開催する事業(行事)に変更し実施した。		引き続き、各児童館で行事として、特色のあるお祭りやフェス等を開催する事業(行事)に変更し実施する。	子ども育成課 (児童館)
138	96	認可保育所の園庭開放	日時等を指定し、園庭を地域の子どもの交流の場として開放するとともに子育ての相談等を行う。	実施中	継続	B	マスクの着用、体温測定、アルコール消毒、手洗い、うがい等、感染対策を徹底し実施した。	市内認可保育所において、定められた日に園庭を開放し、子育て相談等を行った。		日時等を指定し、園庭を地域の子どもの交流の場として開放するとともに子育ての相談等を行う。	子ども育成課
139	96	子ども食堂推進事業	地域住民が主体となる子ども食堂の運営に補助金を交付し、子どもの孤食を防止、安心して過ごせる居場所づくりを支援する。	令和元年10月から実施	継続	B	子ども食堂推進事業補助金 5件 2,641,437円 子ども食堂運営事業者緊急支援事業給付金 3件 300,000円	子ども食堂推進事業補助金 6件 2,043,946円 子ども食堂運営事業者緊急支援事業給付金 5件 500,000円		引き続き、地域住民等が主体となる子ども食堂の運営経費の一部に補助金を交付し、子どもの孤食を防止、安心して過ごせる居場所づくりを支援する。	子ども子育て支援課

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
140	97	公園・児童遊園・運動広場の整備	より快適で安全な住環境の形成を図るため、市民が気軽に集い、憩える公園等の整備を進める。	道具の健全割合 65.2%	道具の健全割合 85.0%	B	都市公園については、公園施設長寿命化計画に基づき、7施設34基の遊具及びベンチ等の改修工事を行った。 児童遊園及び運動広場等については、防球ネット設置工事や修繕を28施設52か所行った。	都市公園については公園施設長寿命化計画に基づき改修工事及び修繕を実施した。また、都市公園、児童遊園及び運動広場及び地域運動場の管理点検調査を実施して、改修工事17施設18遊具等改修工事及び30施設53遊具等の修繕を行った。 道具の健全割合割合 83.1%		・運動広場等管理点検調査の実施 ・公園施設長寿命化計画に基づき、遊具等改修工事の実施	環境課
141	97	屋外体験学習広場	屋外体験学習広場の維持管理を行う。	実施中	継続	B	広場の除草作業を3回(5月・7月・11月)実施し、利用者が快適に広場を利用できるよう努めた。 利用実績 58家族・18団体 延べ629人	広場の除草作業を実施するなど、利用者が快適に広場を利用できるよう努めた。 利用実績 79団体 延べ803人		広場の除草作業を実施するなど、利用者が快適に広場を利用できるよう努める。	文化振興課

## 基本目標5 配慮が必要な子どもと家庭への取組の推進

### 5-1 児童虐待の防止の推進

142	98	児童虐待防止のネットワーク事業	児童虐待の早期発見、早期対応を目指し、要保護児童対策地域協議会を中心とした関係機関との連携による児童虐待防止のネットワークづくりを進める。	協議会開催数 4回/年	協議会開催数 10回/年	B	要保護児童対策地域協議会 代表者会議 1回 実務者会議 2回	要保護児童対策地域協議会 代表者会議 1回 実務者会議 3回		引き続き、児童虐待等の早期発見、早期対応を図るため、要保護児童対策地域協議会を実施する。	子ども子育て支援課
-----	----	-----------------	---	----------------	-----------------	---	--------------------------------------	--------------------------------------	--	--	-----------

### 5-2 ひとり親家庭への支援

143	99	ひとり親家庭ホームヘルパー派遣事業	小学校3年生までの児童のいるひとり親家庭を対象に、ホームヘルパーを派遣し、その福祉の向上を図る。	実施中	継続	B	派遣回数 273回 利用世帯数 5世帯	派遣回数 264回 利用世帯数 4世帯		引き続き、ひとり親家庭を対象に家事育児サポートが支援する。	子ども子育て支援課
144	99	母子生活支援施設保護	配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童を入所させて、これらの者を保護するとともに、これらの者の自立の促進のためにその生活を支援し、併せて退所した者について相談その他の援助を行うことにより、福祉の向上を図る。	入所世帯数 1世帯 自立世帯数 0世帯	全世帯自立	B	入所世帯数 0世帯 保護人員 0人	入所世帯数 0世帯 保護人員 0人		引き続き、配偶者のない女子等及びその児童を入所させて、これらの者を保護、自立の促進のための生活支援等に係る援助を行うために、母子生活支援施設保護事業を実施する。	子ども子育て支援課
145	99	母子・父子自立支援及び婦人相談員事業	母子家庭及び父子家庭並びに寡婦の相談に応じ、自立に必要な情報提供及び相談指導等、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を行う。	相談員数 2人	相談員数 2人	B	相談員数 2人 相談件数 延べ1,198件	相談員数 2人 相談件数 延べ752件		母子家庭及び父子家庭並びに寡婦の相談に応じ、自立に必要な情報提供及び相談指導等、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を行う。	福祉総務課
146	99	児童扶養手当	18歳に到達した年度末までの児童(児童に障害のある場合は20歳未満)を養育しているひとり親家庭の父母(重度の障害がある場合を含む。)又は養育者に手当を支給する。	実施中	継続	B	支給対象児童数 延べ13,283人 手当支給総額 358,118,230円	支給対象児童数 延べ12,628人 手当支給総額 353,456,050円		18歳に到達した年度末までの児童(児童に障害のある場合は20歳未満)を養育しているひとり親家庭の父母(重度の障害がある場合を含む。)又は養育者に手当を支給する。	子ども育成課

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
147	99,100	児童育成手当	児童の心身の健やかな成長に寄与することを目的に、ひとり親家庭等で18歳に達した日の属する年度の末日以前の児童や20歳未満で重度の障害のある児童を養育している方に手当を支給する。	実施中	継続	B	支給対象児童数 延べ18,441人 手当支給総額 251,113,500円	支給対象児童数 延べ17,792人 手当支給総額 242,200,000円		児童の心身の健やかな成長に寄与することを目的に、ひとり親家庭等で18歳に達した日の属する年度の末日以前の児童や20歳未満で重度の障害のある児童を養育している方に手当を支給する。	子ども育成課
148	99	ひとり親家庭医療費助成事業	ひとり親家庭等に対して、医療費の一部を助成し、保護者の負担軽減と保健の向上等を図る。	実施中	継続	B	助成件数 延べ15,356件 助成額 43,214,601円	助成件数 延べ15,841件 助成額 44,263,074円		ひとり親家庭等に対して、医療費の一部を助成し、保護者の負担軽減と保健の向上等を図る。	子ども育成課
149	99	ひとり親家庭への各種制度の広報・啓発	ひとり親家庭の生活の安定と、その児童の福祉を図るため、経済的支援策等各種制度について広報・啓発する。	実施中	継続	B	市報、ホームページにより各種制度を広報した。	市報、ホームページにより各種制度を広報した。		ひとり親家庭の生活の安定と、その児童の福祉を図るため、経済的支援策等各種制度について広報・啓発する。	子ども育成課

### 5-3 障害児施策の充実

150	101	特別児童扶養手当	20歳未満で日常生活に著しい制限を受ける状態にある児童を監護し、又は養育している父母又は養育者に対し、手当を支給する。	実施中	継続	B	受給者数 118人 1級障害児童1人につき 52,400円/月 2級障害児童1人につき 34,900円/月	受給者数 117人 1級障害児童1人につき 53,700円/月 2級障害児童1人につき 35,760円/月		受給者に対し、以下のとおり手当を支給する。 1級障害児童1人につき 55,350円/月 2級障害児童1人につき 36,860円/月 ※ 手当額の改定…令和6年4月分から	子ども育成課
151	101	障害児福祉手当	心身に重度の障害のある児童に手当を支給し、児童の福祉の向上に寄与する。	実施中	継続	B	延べ 601件に手当支給を行い、児童の福祉の向上に寄与した。 (実績額8,927,970円)	延べ 591件に手当支給を行い、児童の福祉の向上に寄与した。 (実績額8,955,800円)		著しく重度の障害を有するため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある在宅の20歳未満の方に手当を支給し、福祉の向上を図る。	障害福祉課
152	101	心身障害児福祉手当	心身に障害のある児童に手当を支給し、児童の福祉の向上に寄与する。	実施中	継続	B	延べ 863件に手当支給を行い、児童の福祉の向上に寄与した。 (実績額6,645,100円)	延べ 894件に手当支給を行い、児童の福祉の向上に寄与した。 (実績額6,883,800円)		心身障害者(児)に手当を支給し、対象者の福祉の向上を図る。	障害福祉課
153	101	中等度難聴児発達支援事業	身体障害者手帳の交付対象とならない中等度難聴児(聴力レベルが軽度又は中等度)に対し、補聴器の購入費用の一部を助成する。	実施中	継続	B	中等度難聴児(聴力レベルが軽度又は中等度)に対し、3件の助成を行った。(実績額720,566円)	中等度難聴児(聴力レベルが軽度又は中等度)に対し、2件の助成を行った。(実績額577,620円)		身体障害者手帳の交付対象とならない中等度難聴児(聴力レベルが軽度又は中等度)に対し、補聴器の購入費用の一部を助成する。	障害福祉課
154	101	重度身体障害者(児)住宅設備改善費給付事業	在宅の重度身体障害者(児)に対し、居住する住宅設備改善工事に要する費用を給付する。	実施中	継続	B	2件(実績額1,279,100円)の住宅設備改善工事に対し、費用を給付した。	3件(実績額2,846,150円)の住宅設備改善工事に対し、費用を給付した。		在宅の重度身体障害者に対し、日常生活の利便を図るため、住宅設備改善(中規模改修・屋内移動設備)の費用を給付し、福祉の向上を図る。	障害福祉課

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
155	101	障害者（児）日常生活用具給付事業	障害者（児）に特殊寝台、移動用リフト等、日常生活用具を給付する。	実施中	継続	B	2,083件 (実績額22,475,584円) 日常生活用具を給付し、障害者（児）の日常生活の利便性の向上を図った。	2,118件 (実績額22,453,825円) 日常生活用具を給付し、障害者（児）の日常生活の利便性の向上を図った。		障害者及び難病患者等に対し、日常生活の利便を図るため、日常生活用具の給付を行う。	障害福祉課
156	101	心身障害者（児）ガソリン費等助成事業	心身障害者（児）が使用する自動車の運行に要するガソリン費及び軽油費の一部を助成する。	実施中	継続	B	8,200件 331,866,207円 (実績額18,099,708円) のガソリン費等の一部を助成した。	8,054件 322,503,767円 (実績額17,572,589円) のガソリン費等の一部を助成した。		心身障害者（児）が使用する自動車の運行に要するガソリン費等の一部を助成し、福祉の向上を図る。	障害福祉課
157	101	福祉タクシー事業	電車、バス等の交通機関を利用することが困難な心身障害者（児）が、市と福祉タクシー事業に係る契約を締結した事業所のタクシーを利用する場合にその利用料金の一部を助成する。	実施中	継続	B	助成対象者 680人 助成件数 55,214件	助成対象者 685人 助成件数 55,147件		心身障害者（児）がタクシーを利用した場合に、その利用料金の一部を助成し、福祉の向上を図る。	障害福祉課
158	101	心身障害児医療費助成事業	心身障害児に係る医療費の一部を助成する。	実施中	継続	B	延べ18件の心身障害児の医療費の一部負担金（自己負担金）を助成し、福祉の向上を図った。	延べ6件の心身障害児の医療費の一部負担金（自己負担金）を助成し、福祉の向上を図った。		心身障害児の医療費の保険給付に係る一部負担金（自己負担金）を助成し、福祉の向上を図る。	障害福祉課
159	101	医療的ケア児支援のための協議の場	人工呼吸器、経管栄養、たん吸引等の日常生活に医療を要する障害のある子どもの地域における支援のための協議の場を設け、保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関等の連携の一層の推進を図る。	未実施	実施	C	未実施	未実施	武蔵村山市自立支援協議会において検討する予定であったが、次期障害者計画の協議等を行ったため検討することができなかった。	武蔵村山市自立支援協議会において、医療的ケア児について個別の支援体制を構築していくように検討する。	障害福祉課
160	101	児童発達支援センター	児童発達支援センターについて、専門職員の配置や研修などの体制整備の促進を図る。	1か所	1か所	B	1か所 作業療法士1名、理学療法士1名	1か所 作業療法士1名、理学療法士1名		児童発達支援センターについて、専門職員の配置や研修などの体制整備の促進を図る。	障害福祉課
161	101	保育所等訪問支援	児童発達支援センター等の職員が保育所等を訪問し、障害のある児童に対する集団生活に適応するための訓練や施設職員に対する支援方法の指導等を行う。	未実施	実施	B	市内には保育所等訪問支援を行う事業所はないが、障害福祉課認定審査係でサービスの支給決定を行っている。	市内には保育所等訪問支援を行う事業所はないが、障害福祉課認定審査係でサービスの支給決定を行った。		市内には保育所等訪問支援を行う事業所がないため、引き続き障害福祉課認定審査係でサービスの支給決定を行う。	障害福祉課
162	101	児童発達支援事業所の確保	主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所を確保する。	1か所	3か所	B	1か所	1か所		主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所を確保する。	障害福祉課

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
163	102	放課後等デイサービス事業所の確保	主に重症心身障害児を支援する放課後等デイサービス事業所を確保する。	2か所	2か所	B	1か所	1か所		主に重症心身障害児を支援する放課後等デイサービス事業所を確保する。	障害福祉課
164	102	発達障害児個別支援ファイル（むさしむらやまマイファイル）の普及・啓発	発達障害のある方やその家族がライフステージの変化に左右されず円滑に情報共有が図れるよう医療機関の受診履歴や成育歴などを書き込むマイファイルの活用を図る。	実施中	継続	B	窓口配布数 8冊 その他、武蔵村山市ホームページに掲載（ダウンロード数不明）	窓口配布数 2冊 その他、武蔵村山市ホームページに掲載（ダウンロード数不明）		発達障害児個別支援ファイル（むさしむらやまマイファイル）の普及・啓発を図る。	障害福祉課
165	102	障害者就労支援センター事業	障害者（児）の一般就労の機会の拡大を図るとともに、障害者が安心して働き続けることができるよう、就労面と生活面の支援を実施する。	実施中	継続	B	障害者の就労面の相談を延べ7,595件、生活面の相談を延べ3,162件を受け、就労につながる支援を行った。	障害者の一般就労の拡大を図るとともに、障害者が安心して働き続けられるよう身近な地域において、就労面の相談を延べ7,385件、生活面の相談を延べ3,039件を受け、就労・生活面の一体的な支援を行った。		障害者の一般就労の機会の拡大を図るとともに、障害者が安心して働き続けられるよう身近な地域において、就労・生活面の支援を一体的に提供し、福祉の増進を図る。	障害福祉課
166	102	保育所等巡回指導・相談事業	保育所等に在籍する配慮を要する児童等の保育・教育を支援するため、相談員が各施設での児童の状況等を観察の上、関係職員に具体的な指導方針等について助言や相談を行う。	実施中	継続	B	訪問園 13園 対象児童数 延べ133人	訪問園 13園 対象児童数 延べ149人		保育所等に在籍する配慮を要する児童等の保育・教育を支援するため、相談員が各施設での児童の状況等を観察の上、関係職員に具体的な指導方針等について助言や相談を行う。	子ども育成課
167	102	特別支援教育巡回相談	各学校からの要請に応じて小・中学校を巡回相談員が巡回し、行動観察等により児童・生徒一人一人のニーズを把握し、専門的な見地から教育上特別の支援を必要とする児童生徒に係る指導の内容及び方法等について、助言又は援助を行う。	実施中	継続	B	巡回相談件数 13件 相談員 19人	巡回相談件数 22件 相談員 19人		各学校から要請を受けた小・中学校だけでなく、教育委員会が指定した小・中学校に巡回相談を実施し、行動観察等により児童・生徒一人一人のニーズを把握し、専門的な見地から教育上特別の支援を必要とする児童・生徒に係る指導の内容及び方法等について、助言又は援助を行う。	教育指導課
168	102	特別支援教育支援員	学校生活を営む上で支援を必要とする障害のある児童又は生徒が在学する学校に、当該児童生徒の介助その他の支援を行う特別支援教育支援員を配置する。	実施中	継続	B	特別支援教育支援員の配置 第一小学校 3人 第二小学校 2人 第三小学校 1人 第十小学校 2人 雷塚小学校 3人 大南学園第七小学校 1人	特別支援教育支援員の配置 第一小学校 3人 第二小学校 1人 第三小学校 2人 村山学園第四小学校 1人 大南学園第七小学校 1人 雷塚小学校 3人		学校生活を営む上で支援を必要とする障害のある児童又は生徒が在籍する学校に、当該児童・生徒の介助、その他の支援を行う特別支援教育支援員を配置する。	教育指導課
169	102	特別支援学級	小中学校に障害種別に応じた特別支援学級を設置し、充実した教育の実施を図る。	実施中	継続	A	特別支援学級 一小（知的）4学級 31人 一小（情緒）4学級 25人 雷塚小（知的）4学級 29人 雷塚小（情緒）2学級 16人 一中（知的）3学級 24人 二中（知的）7学級 56人	特別支援学級 一小（知的）4学級 28人 一小（情緒）4学級 27人 雷塚（知的）4学級 29人 雷塚（情緒）2学級 15人 一中（知的）3学級 20人 二中（知的）5学級 33人 二中（情緒）2学級 16人	令和5年度4月から小中一貫校村山学園第二中学校に自閉症・情緒障害特別支援学級を開設した。	小・中学校に障害種別に応じた特別支援学級を設置し、充実した教育の実施を図る。	教育指導課
170	102	介助員	特別支援学級に介助員を配置し、効率的な授業運営を図る。	実施中	継続	B	介助員の配置 （定数） 第一小学校 2人 雷塚小学校 4人 第一中学校 1人 第二中学校 2人	介助員の配置 （定数） 第一小学校 2人 雷塚小学校 4人 第一中学校 1人 第二中学校 2人		特別支援学級に介助員を配置し、効率的な授業運営を図る。	教育指導課

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
171	102	特別支援教室	知的障害のない発達障害等で通常の学級での学習におおむね参加できる児童・生徒が在籍校で特別な指導を受けることができるよう特別支援教室の設置を進める。	12か所	14か所(市内全校)	B	令和2年度当初をもって、市内全小・中学校に導入が完了した。 令和4年度からは東京都教員委員会作成の「特別支援教室の運営ガイドライン(特別支援教室の導入ガイドラインの改訂版)」に沿って運営を行った。	東京都教員委員会作成の「特別支援教室の運営ガイドライン(特別支援教室の導入ガイドラインの改訂版)」に沿って運営を行った。		特別支援教室は、法律に規定された発達障害のみに限定された制度である。また、指導要領の自立活動を参考に、具体的な目標や内容を定め、目標達成により退室となる。入室後の指導及び在籍校と巡回指導員との連携により、学習上・生活上の困難を改善・克服し、学校生活の全ての時間を在籍学級で送れるようにすることが期待できる。今後も、拠点校・巡回校の連携及び学校全体の取組みの重要性について、周知・徹底を図る。	教育指導課
172	102	心身障害者(児)スポーツ教室	心身障害者(児)を対象にグラウンドゴルフ教室等を実施する。	実施中	継続	B	《心身障害者(児)グラウンド・ゴルフ教室》 ①開催日：令和4年9月10日(土) 開催場所：第一小学校校庭 参加者：19人 ②開催日：令和5年3月11日(土) 開催場所：第一小学校校庭 参加者：30人	《心身障害者(児)グラウンド・ゴルフ教室》 ①開催日：令和5年9月9日(土) 開催場所：第一小学校体育館 参加者：15人 ②開催日：令和6年3月9日(土) 開催場所：第一小学校校庭 参加者：27人		心身障害者(児)を対象にグラウンド・ゴルフ教室等を開催する。	スポーツ振興課

#### 5-4 生活困難を抱える家庭への支援

173	103	(仮称)子どもの未来応援プランの推進	全ての子どもたちが夢と希望を持って成長できるよう(仮称)子どもの未来応援プランに基づく事業を推進する。	策定中	推進	B	令和5年度調査に向けた情報収集及び関係各課との調整	生活実態調査等の実施		全ての子どもたちが夢と希望を持って成長できるよう子どもの未来応援プランに基づく事業を推進する。	福祉総務課
-----	-----	--------------------	---	-----	----	---	---------------------------	------------	--	---	-------

項目番号	計画掲載ページ	事業	事業内容	現状 令和元年度	目標 令和6年度	進捗状況	令和4年度実績	令和5年度実績	進捗状況の理由 (A又はCの場合)	令和6年度事業内容	関係課
5-5 外国人世帯への支援											
174	103	外国語版ホームページの運用	外国版ホームページを運用し、外国人居住者が住みやすい環境づくりに努める。	実施中	継続	B	引き続き5か国語の言語で翻訳を行った。 【翻訳言語】（令和4年度末現在） 英語、中国語、韓国語、タガログ語、ベトナム語	引き続き5か国語の言語で翻訳を行った。 【翻訳言語】（令和5年度末現在） 英語、中国語、韓国語、タガログ語、ベトナム語		引き続き5か国語の言語で翻訳を行う。	秘書広報課
175	103	子育て情報アプリの外国語対応	子育て関連情報の発信や予防接種スケジュールの作成などの機能を持つ子育て情報アプリの外国語対応を開始し、安心して子育てできる環境づくりに努める。	未実施	実施	B	武蔵村山市子ども・子育て応援ナビは、日本語のほか英語、中国語、韓国語など12か国語に対応しており、安心して子育てができる環境づくりに努めた。	武蔵村山市子ども・子育て応援ナビは、日本語のほか英語、中国語、韓国語など12か国語に対応しており、安心して子育てができる環境づくりに努めた。		子育て関連情報の発信や予防接種スケジュールの作成などの機能を持つ子育て情報アプリの外国語対応を開始し、安心して子育てできる環境づくりに努める。	健康推進課 子ども子育て支援課
176	103	パンフレット等への外国語併記	各種ガイドブックやパンフレットへの外国語併記など必要な情報を提供し、多文化共生のまちづくりを推進する。	実施中	継続	B	やさしい日本語と英語で作成した自治会加入促進のための横断幕を、庁舎北側玄関から2階協働推進部を見上げた窓ガラスに張り出し、PRした。（協働推進課） 未実施（障害福祉課） 外国等からの転入の方の予防接種等の記録の書き写し等の支援を行った。（健康推進課） 母子健康手帳（10か国語） 外国人住民のための子育てチャート（6か国語） （子ども子育て支援課） 現状、学校だより等における外国語併記については行っていない。（教育指導課）	やさしい日本語と英語で作成した自治会加入促進のための横断幕を、庁舎北側玄関から2階協働推進部を見上げた窓ガラスに張り出し、PRした。 また、消費啓発チラシをやさしい日本語で作成し、パネル展においてチラシの展示及びくらしフェスタにおいてチラシの配布を行った。（協働推進課） 未実施（障害福祉課） 外国等からの転入の方の予防接種等の記録の書き写し等の支援を行った。（健康推進課） 母子健康手帳（10か国語） 外国人住民のための子育てチャート（6か国語） （子ども子育て支援課） 現状、学校だより等における外国語併記については行っていない。（教育指導課）	令和6年度においても、やさしい日本語と英語で作成した自治会加入促進のための横断幕を、庁舎北側玄関から2階協働推進部を見上げた窓ガラスに張り出し、PRする。 また、やさしい日本語で作成した消費啓発チラシも引き続き活用していく。（協働推進課） 現時点においては、実施予定なし（障害福祉課） 各種ガイドブックやパンフレットへの外国語併記など必要な情報を提供し、多文化共生のまちづくりを推進する。（健康推進課） 引き続き、母子健康手帳を10か国語、外国人住民のための子育てチャートを6か国語に対応する。（子ども子育て支援課） 各種ガイドブックやパンフレットへの外国語併記など必要な情報を提供し、多文化共生のまちづくりを推進する。（教育指導課）	関係各課	
177	103	多文化共生推進事業協力員制度	多文化共生推進事業に協力する職員として、日本語を話せない外国人が来庁した際の通訳や翻訳、国際交流事業等に協力する。	登録者数7人	登録者数10人	A	令和4年度においては、新規登録者はなし（令和4年度末現在の登録者は10名）（協働推進課） 令和4年度において、パンフレット等の作成実績なし。（産業観光課）	令和5年度において、新たに1名を登録した。（令和5年度末現在の登録者は11名）	令和6年度までに10人の登録を目標値としていたが、令和5年度において目標値以上の登録者数を達成した。	令和6年度新規採用者に対し、引き続き協力員の募集をかける。	協働推進課

1 乳幼児期の教育・保育【子ども育成課】

区分	令和2年度(計画値)			令和3年度(計画値)			令和4年度(計画値)			令和5年度(計画値)			令和6年度(計画値)			
	3-5歳 学校教育 のみ <1号>	3-5歳 保育の必 要性あり <2号>	0-2歳 保育の必 要性あり <3号>	3-5歳 学校教育 のみ <1号>	3-5歳 保育の必 要性あり <2号>	0-2歳 保育の必 要性あり <3号>	3-5歳 学校教育 のみ <1号>	3-5歳 保育の必 要性あり <2号>	0-2歳 保育の必 要性あり <3号>	3-5歳 学校教育 のみ <1号>	3-5歳 保育の必 要性あり <2号>	0-2歳 保育の必 要性あり <3号>	3-5歳 学校教育 のみ <1号>	3-5歳 保育の必 要性あり <2号>	0-2歳 保育の必 要性あり <3号>	
①量の見込み (必要利用定員総数)	726人	1,141人	805人	737人	1,158人	787人	729人	1,144人	790人	715人	1,124人	799人	701人	1,102人	819人	
②確保 の内容	認定こども園、 幼稚園、保育所(教 育・保育施設)	1,280人	1,207人	772人	1,280人	1,216人	784人	1,280人	1,218人	789人	1,280人	1,218人	789人	1,280人	1,218人	789人
	地域型保育事業			0人			0人			0人			0人		19人	
	認可外保育施設		2人	23人		2人	23人		2人	23人		2人	23人		23人	
②-①	554人	68人	▲10人	543人	60人	20人	551人	76人	22人	565人	96人	13人	579人	118人	12人	

区分	令和2年度(4月1日)実績			令和3年度(4月1日)実績			令和4年度(4月1日)実績			令和5年度(4月1日)実績			令和6年度(4月1日)実績			
	3-5歳 学校教育 のみ <1号>	3-5歳 保育の必 要性あり <2号>	0-2歳 保育の必 要性あり <3号>	3-5歳 学校教育 のみ <1号>	3-5歳 保育の必 要性あり <2号>	0-2歳 保育の必 要性あり <3号>	3-5歳 学校教育 のみ <1号>	3-5歳 保育の必 要性あり <2号>	0-2歳 保育の必 要性あり <3号>	3-5歳 学校教育 のみ <1号>	3-5歳 保育の必 要性あり <2号>	0-2歳 保育の必 要性あり <3号>	3-5歳 学校教育 のみ <1号>	3-5歳 保育の必 要性あり <2号>	0-2歳 保育の必 要性あり <3号>	
①申込 者数	管内	554人	1,102人	812人	559人	1,067人	748人	570人	1,073人	695人	499人	1,054人	690人	425人	1,038人	672人
	管外	253人	36人	16人	241人	34人	27人	229人	26人	21人	230人	23人	18人	198人	21人	17人
	計	807人	1,138人	828人	800人	1,101人	775人	799人	1,099人	716人	729人	1,077人	708人	623人	1,059人	689人
②利用 定員	認定こども園、 幼稚園、保育所(教 育・保育施設)	1,280人	1,207人	772人	1,275人	1,225人	784人	1,280人	1,167人	786人	1,280人	1,164人	779人	1,280人	1,164人	765人
	地域型保育事業			0人			0人			18人			18人		18人	
	認可外保育施設		2人	18人		2人	18人		8人	12人		8人	12人		8人	12人
	計	1,280人	1,209人	790人	1,275人	1,227人	802人	1,280人	1,175人	816人	1,280人	1,172人	809人	1,280人	1,172人	795人
②-①	473人	71人	▲38人	475人	126人	27人	481人	76人	100人	551人	95人	101人	657人	113人	106人	

※ 3-5歳学校教育の欄は5月1日現在の実績



## 2 地域子ども・子育て支援事業

### (1)利用者支援事業【子ども育成課・子ども子育て支援課】

#### ①基本型・特定型

区分	令和2年度(計画値)	令和3年度(計画値)	令和4年度(計画値)	令和5年度(計画値)	令和6年度(計画値)
量の見込み	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所

区分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
設置数	1か所	1か所	1か所	1か所	

#### ②母子保健型

区分	令和2年度(計画値)	令和3年度(計画値)	令和4年度(計画値)	令和5年度(計画値)	令和6年度(計画値)
量の見込み	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所

区分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
設置数	1か所	1か所	1か所	1か所	

### (2)延長保育事業【子ども育成課】

区分	令和2年度(計画値)	令和3年度(計画値)	令和4年度(計画値)	令和5年度(計画値)	令和6年度(計画値)
量の見込み	14,455人	14,446人	14,396人	14,351人	14,371人

区分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
利用実績	10,656人	11,523人	12,821人	11,219人	

(単位:人/年延べ)

(3)子育てセンター事業(地域子育て支援拠点事業)【子ども子育て支援課】

区分	令和2年度(計画値)	令和3年度(計画値)	令和4年度(計画値)	令和5年度(計画値)	令和6年度(計画値)
量の見込み	5,615人日	5,510人日	5,545人日	5,625人日	5,768人日
	(4か所)	(4か所)	(4か所)	(4か所)	(4か所)

区分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
利用実績	2,966人日	2,606人日	2,710人日	3,191人日	
	(4か所)	(4か所)	(4か所)	(4か所)	

(単位:人日/年延べ)

(4)① 一時預かり事業〈幼稚園型〉【子ども育成課】(幼稚園における在園児を対象とした一時預かり保育)

区分	令和2年度(計画値)	令和3年度(計画値)	令和4年度(計画値)	令和5年度(計画値)	令和6年度(計画値)
量の見込み	18,369人日	18,644人日	18,427人日	18,093人日	17,740人日

区分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
利用実績	17,267人日	20,656人日	19,124人日	20,663人日	

(単位:人日/年延べ)

(4)② 一時預かり事業〈幼稚園型を除く〉【子ども育成課】(保育所における未就園児を対象とした一時預かり保育)

区分	令和2年度(計画値)	令和3年度(計画値)	令和4年度(計画値)	令和5年度(計画値)	令和6年度(計画値)
量の見込み	1,165人日	1,165人日	1,161人日	1,157人日	1,159人日

区分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
利用実績	301人日	389人日	344人日	359人日	

(単位:人日/年延べ)

(5)ファミリー・サポート・センター事業(子育て援助活動支援事業)【子ども子育て支援課】

区分	令和2年度(計画値)	令和3年度(計画値)	令和4年度(計画値)	令和5年度(計画値)	令和6年度(計画値)
量の見込み	206人日	200人日	196人日	196人日	194人日
区分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
利用実績	237人日	379人日	350人日	168人日	

(単位:人日/年延べ)

(6)ショートステイ事業(子育て短期支援事業)【子ども子育て支援課】

区分	令和2年度(計画値)	令和3年度(計画値)	令和4年度(計画値)	令和5年度(計画値)	令和6年度(計画値)
①量の見込み	84人日	83人日	82人日	82人日	81人日
②確保の内容	730人日	730人日	730人日	732人日	730人日
②-①	646人日	647人日	648人日	650人日	649人日

区分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
①年間利用者数	137人日	80人日	134人日	161人日	/
②年間利用定員	か所数	1か所	1か所	1か所	
	定員	2人	2人	2人	
	開所日数	365日	365日	366日	
	確保量	730人	730人	732人	
②-①	593人日	650人日	596人日	571人日	

(単位:人日/年延べ)

(7)病児保育事業【子ども子育て支援課】

区分	令和2年度(計画値)	令和3年度(計画値)	令和4年度(計画値)	令和5年度(計画値)	令和6年度(計画値)
量の見込み	503人日	496人日	497人日	496人日	497人日

区分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
利用実績	88人日	311人日	296人日	419人日	/

(単位:人日/年延べ)

(8)-1 放課後児童健全育成事業(学童クラブ)【子ども育成課(児童館)】

区分		令和2年度(計画値)	令和3年度(計画値)	令和4年度(計画値)	令和5年度(計画値)	令和6年度(計画値)
①量の見込み	1年生	328人	308人	316人	322人	323人
	2年生	205人	222人	208人	213人	217人
	3年生	157人	139人	150人	141人	145人
	4年生	80人	86人	76人	83人	78人
	5年生	21人	19人	20人	18人	20人
	6年生	5人	5人	5人	5人	4人
	計	796人	779人	775人	782人	787人
②確保の内容		710人	710人	710人	710人	710人
		(13か所)	(13か所)	(13か所)	(13か所)	(13か所)
②-①		▲ 86人	▲ 69人	▲ 65人	▲ 72人	▲ 77人

区分		令和2年度(4月1日)実績	令和3年度(4月1日)実績	令和4年度(4月1日)実績	令和5年度(4月1日)実績	令和6年度(4月1日)実績
①申込者数	1年生	326人	258人	310人	288人	256人
	2年生	239人	238人	214人	239人	231人
	3年生	161人	158人	160人	148人	174人
	4年生	55人	62人	61人	90人	70人
	5年生	26人	13人	11人	16人	31人
	6年生	0人	4人	4人	2人	4人
	計	807人	733人	760人	783人	766人
②利用定員		710人	710人	710人	710人	710人
		(13か所)	(13か所)	(13か所)	(13か所)	(13か所)
②-①		▲ 97人	▲ 23人	▲ 50人	▲ 73人	▲ 56人

(8)-2 ランドセル来館事業(量の見込み)【子ども育成課(児童館)】

区分		令和2年度(計画値)	令和3年度(計画値)	令和4年度(計画値)	令和5年度(計画値)	令和6年度(計画値)
①保留児童数		86人	69人	65人	72人	77人
②確保の内容	弾力的運用	54人	38人	34人	41人	46人
	ランドセル来館事業	32人	31人	31人	31人	31人
②-①		0人	0人	0人	0人	0人

区分		令和2年度(4月1日)実績	令和3年度(4月1日)実績	令和4年度(4月1日)実績	令和5年度(4月1日)実績	令和6年度(4月1日)実績
①保留児童数		97人	23人	50人	73人	56人
②確保の内容	弾力的運用	89人	9人	38人	73人	56人
	ランドセル来館事業	3人	14人	9人	0人	0人
②-①		▲ 5人	0人	▲ 3人	0人	0人

(9) 妊婦健康診査【子ども子育て支援課】

区分		令和2年度(計画値)	令和3年度(計画値)	令和4年度(計画値)	令和5年度(計画値)	令和6年度(計画値)
量の 見込み	受診者数	476人	476人	484人	499人	514人
	延べ 受診回数	5,454回	5,541回	5,725回	5,996回	6,276回

区分		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
利用実績	受診者数	589人	621人	566人	513人	
	延べ 受診回数	4,317回	4,647回	4,357回	3,923回	

(10) 乳児家庭全戸訪問事業(子ども子育て支援課)

区分	令和2年度(計画値)	令和3年度(計画値)	令和4年度(計画値)	令和5年度(計画値)	令和6年度(計画値)
量の見込み	492人	492人	500人	515人	531人

区分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
訪問実績	405人	364人	347人	337人	
0歳児人口	471人	417人	409人	382人	311人

※0歳児人口については、各年4月1日時点の人数

(単位:人/年)



(11) 養育支援訪問事業(子ども子育て支援課)

区分		令和2年度(計画値)	令和3年度(計画値)	令和4年度(計画値)	令和5年度(計画値)	令和6年度(計画値)
量の 見込み	訪問実家庭数	8か所	8か所	9か所	9か所	9か所
	訪問延べ件数	117件	117件	133件	133件	133件

区分		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
訪問 実績	訪問実家庭数	7か所	6か所	1か所	1か所	/
	訪問延べ件数	68件	60件	117件	10件	

(単位: 件/年延べ)

(12) 実費徴収に係る補足給付事業(子ども育成課)

区分		令和2年度(計画値)	令和3年度(計画値)	令和4年度(計画値)	令和5年度(計画値)	令和6年度(計画値)
量の 見込み		1,166人	1,183人	1,170人	1,148人	1,126人

区分		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
利用 実績		754人	755人	847人	941人	/

(単位: 人/年延べ)